

2.3. 新型コロナウイルス感染症の影響

2.3.1. 保護者の状況

(1) 世帯全体の収入の変化

保護者票問23. あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(SA)

a. 世帯全体の収入の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「世帯全体の収入の変化」は、「増えた」が2.3%、「減った」が29.2%、「変わらない」が68.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では19.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では36.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では49.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では28.2%、「ひとり親世帯」全体では35.0%、「母子世帯」のみでは33.9%となっている。

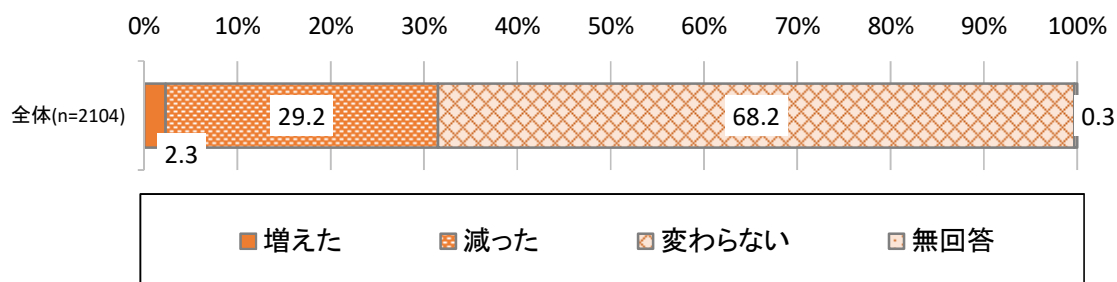


図 2-3-1-1 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (世帯全体の収入の変化)

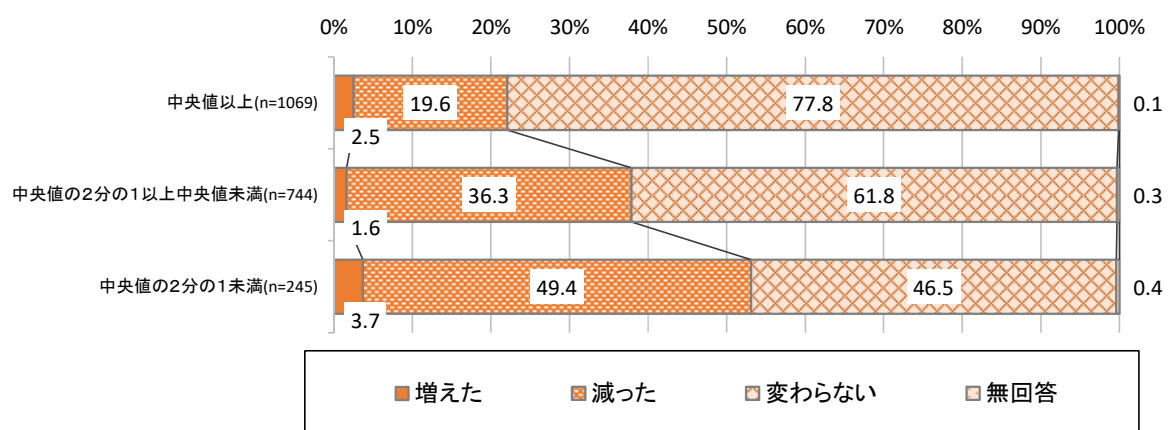


図 2-3-1-2 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (世帯全体の収入の変化)

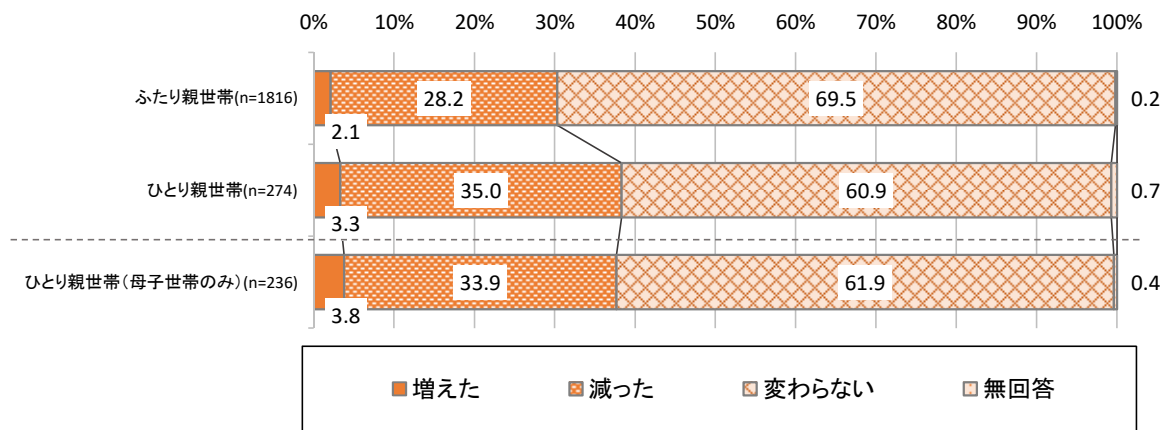


図 2-3-1-3 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容（世帯全体の収入の変化）

(2) 生活に必要な支出の変化

保護者票問23. あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(SA)

b.生活に必要な支出の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「生活に必要な支出の変化」は、「増えた」が38.8%、「減った」が7.7%、「変わらない」が53.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では31.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では43.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では58.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では37.3%、「ひとり親世帯」全体では48.5%、「母子世帯」のみでは52.5%となっている。

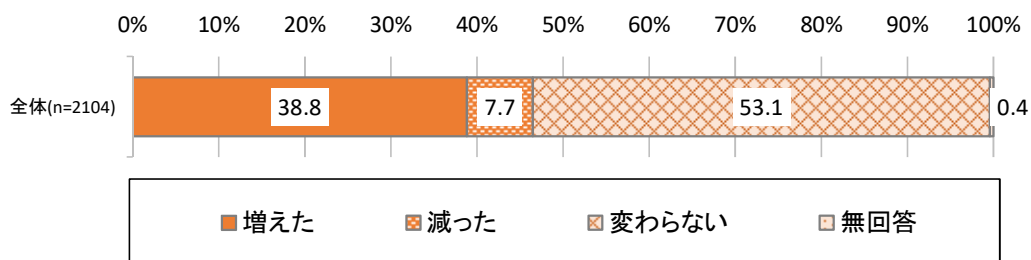


図 2-3-1-4 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (生活に必要な支出の変化)

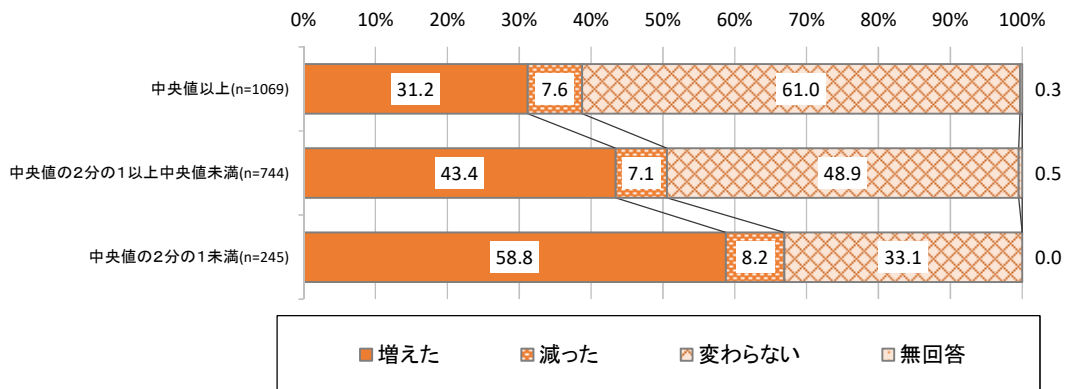


図 2-3-1-5 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (生活に必要な支出の変化)

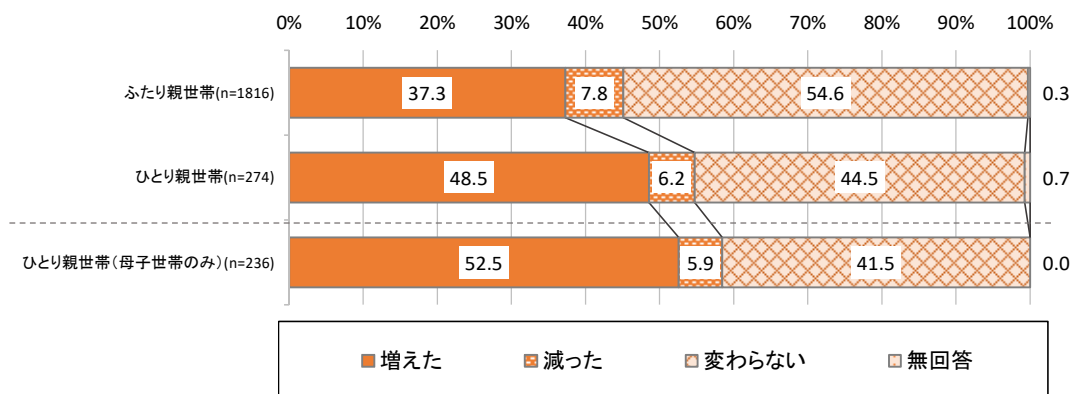


図 2-3-1-6 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (生活に必要な支出の変化)

(3) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

保護者票問23. あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(SA)

c. お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと」は、「増えた」が12.5%、「減った」が1.7%、「変わらない」が84.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では3.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では17.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では38.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では10.2%、「ひとり親世帯」全体では27.4%、「母子世帯」のみでは29.7%となっている。

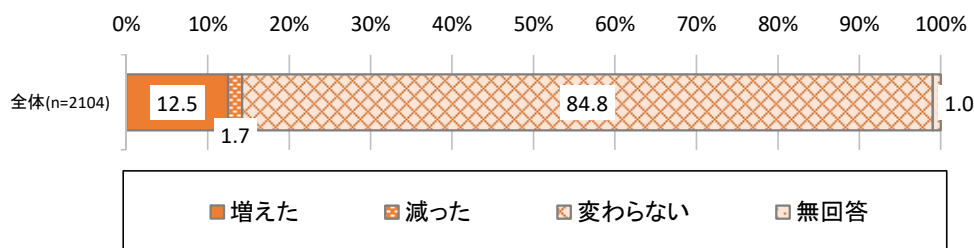


図 2-3-1-7 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと)

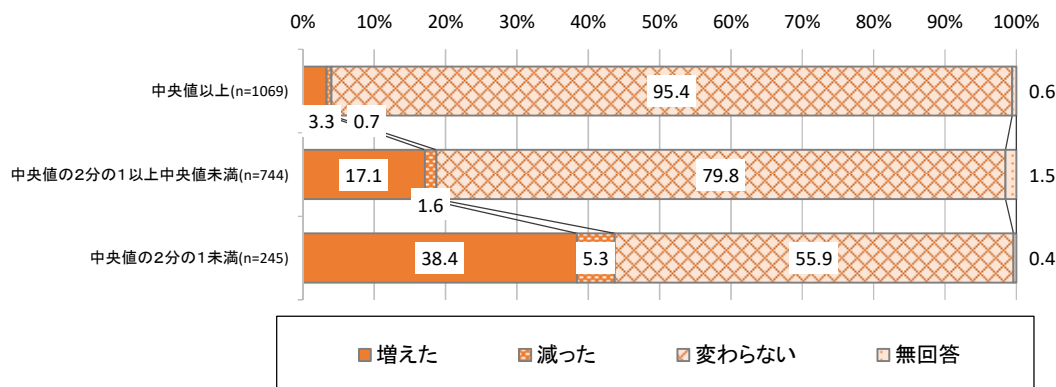


図 2-3-1-8 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと)

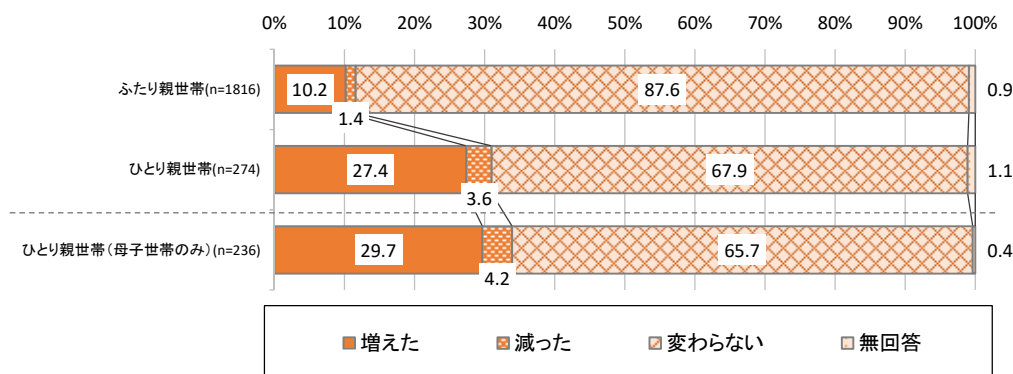


図 2-3-1-9 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと)

(4) お子さんと話をすること

保護者票問23. あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(SA)

d. お子さんと話をすること

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「お子さんと話をすること」は、「増えた」が22.6%、「減った」が3.9%、「変わらない」が73.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では2.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では4.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では8.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では3.5%、「ひとり親世帯」全体では6.9%、「母子世帯」のみでは6.4%となっている。

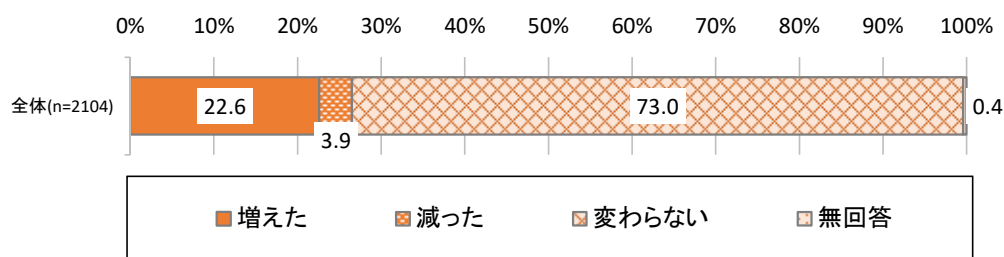


図 2-3-1-10 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (お子さんと話をすること)

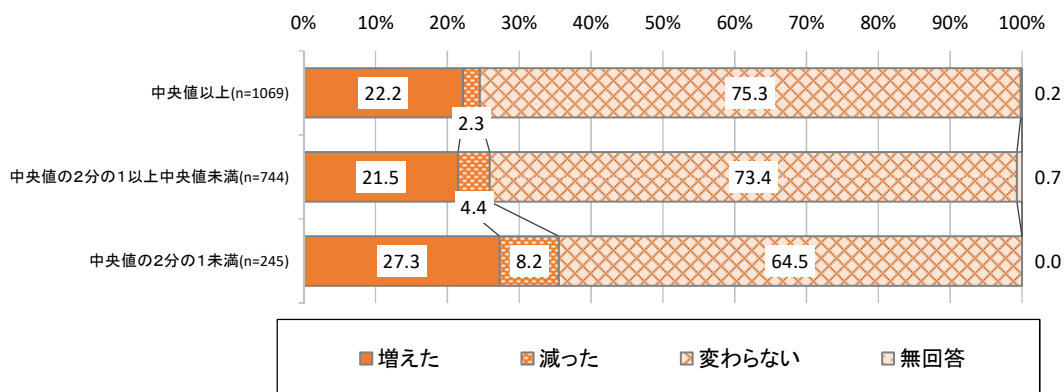


図 2-3-1-11 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (お子さんと話をすること)

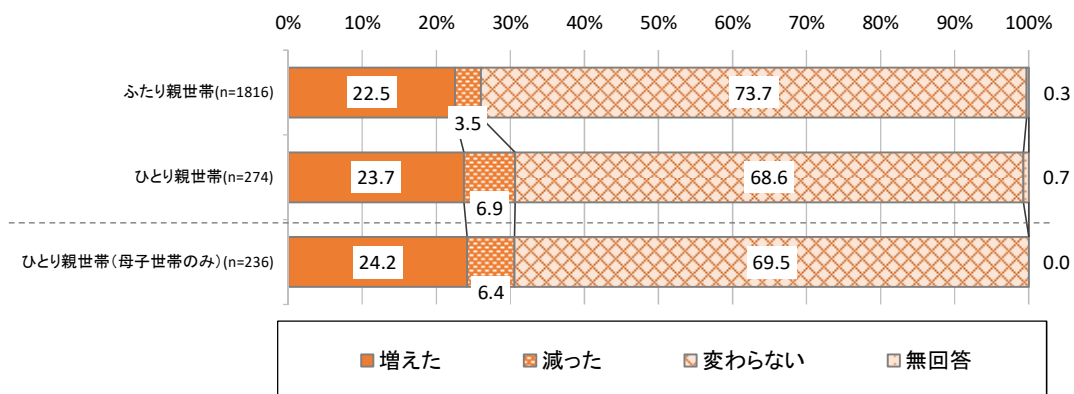


図 2-3-1-12 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (お子さんと話をすること)

(5) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

保護者票問23. あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(SA)

e.家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること」は、「増えた」が15.2%、「減った」が4.0%、「変わらない」が80.5%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では12.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では17.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では20.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では14.5%、「ひとり親世帯」全体では19.3%、「母子世帯」のみでは21.2%となっている。

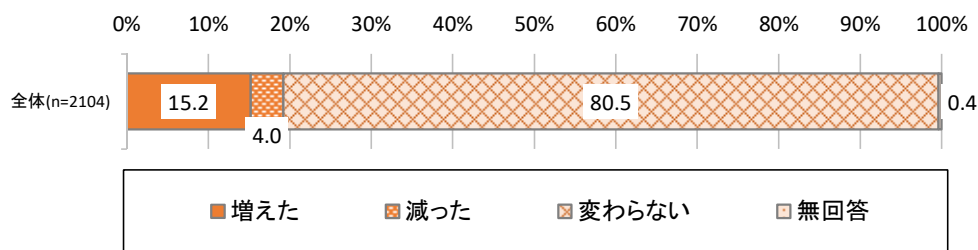


図 2-3-1-13 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること)

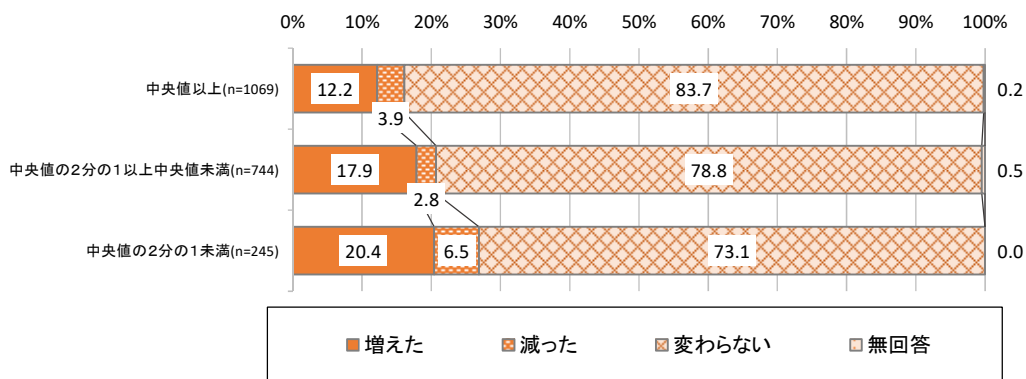


図 2-3-1-14 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること)

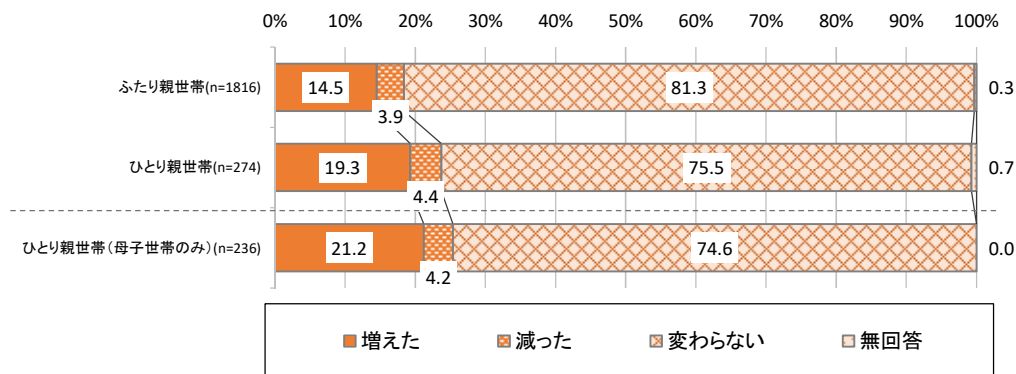


図 2-3-1-15 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること)

(6) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

保護者票問23. あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(SA)

f.あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」は、「増えた」が33.5%、「減った」が1.9%、「変わらない」が64.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では27.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では36.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では51.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では31.7%、「ひとり親世帯」全体では45.6%、「母子世帯」のみでは49.2%となっている。

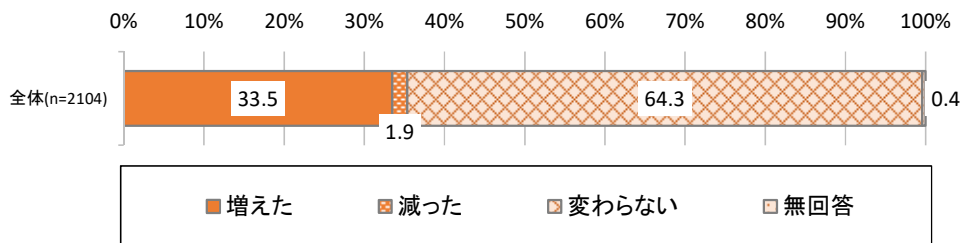


図 2-3-1-16 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと)

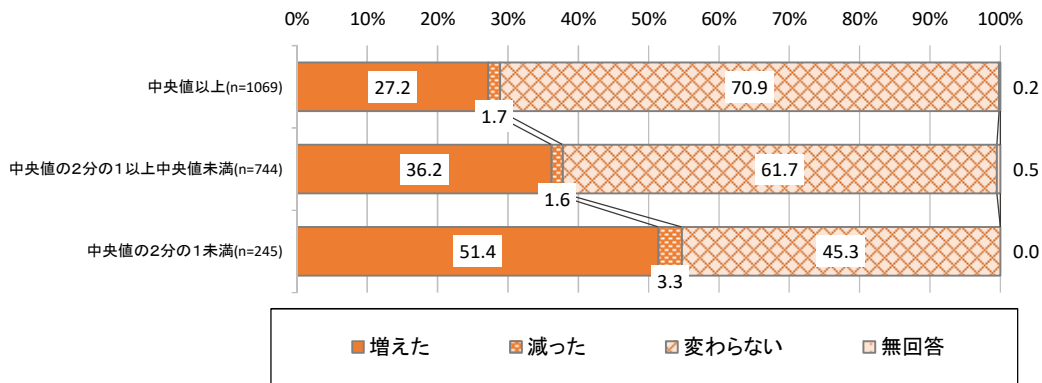


図 2-3-1-17 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと)

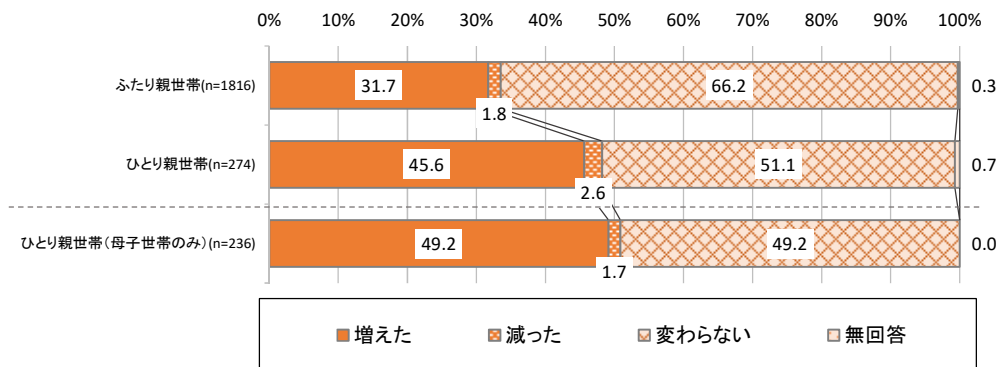


図 2-3-1-18 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと)

(7) 新型コロナウイルス感染症の影響と保護者の現在の状況との関係

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について、「世帯全体の収入の変化」の状況別に保護者の心理的な状態（K6のスコア）について集計をした。収入の変化について「減った」と回答した場合、K6のスコアが「13点以上」の割合は13.5%となっており、収入の変化が「変わらない」場合と比べて高くなっている。

また、等価世帯収入の水準で分類した上で、「世帯全体の収入の変化」の状況別に保護者の心理的な状態（K6のスコア）について集計すると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、収入の変化について「減った」と回答した場合、「変わらない」と回答した場合と比べて、K6のスコアが「13点以上」の割合が高くなっている。「中央値の2分の1未満」の世帯で、かつ、「世帯全体の収入の変化」に関して「減った」と回答した場合、K6のスコアが「13点以上」の割合は28.9%と高くなっている。

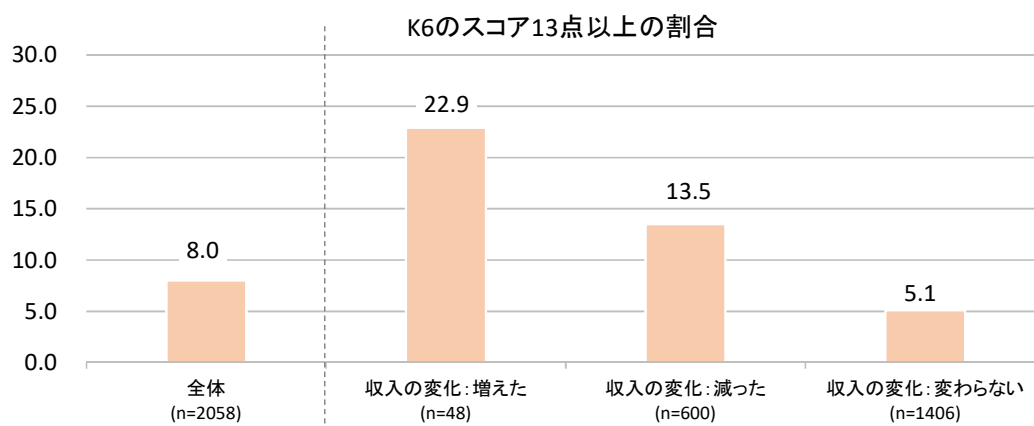


図 2-3-1-19 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について「世帯全体の収入の変化」の状況別、保護者の心理的な状態（K6のスコア）

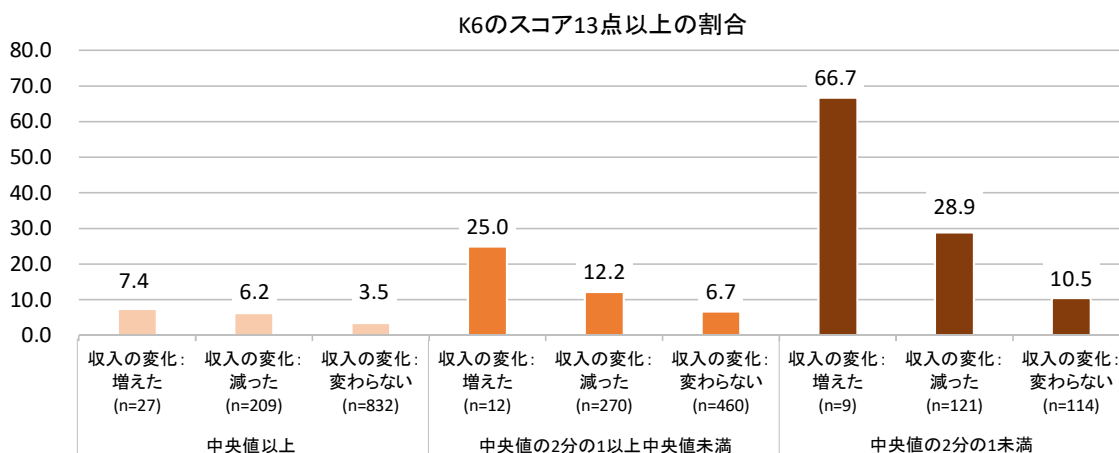


図 2-3-1-20 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について「世帯全体の収入の変化」の状況別、保護者の心理的な状態（K6のスコア）

2.3.2. 子どもの状況

(1) 学校の授業以外で勉強する時間

中学生票問16. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

a. 学校の授業以外で勉強する時間

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「学校の授業以外で勉強する時間」は、「増えた」が19.1%、「減った」が9.1%、「変わらない」が70.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では21.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では17.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では16.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では20.0%、「ひとり親世帯」全体では14.3%、「母子世帯」のみでは15.3%となっている。

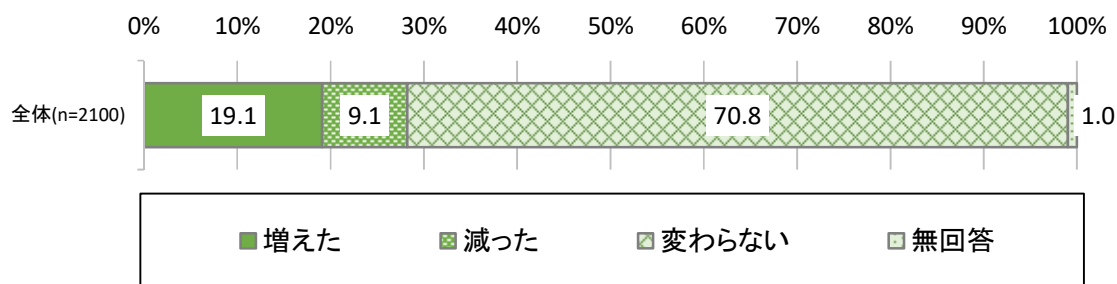


図 2-3-2-1 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (学校の授業以外で勉強する時間)

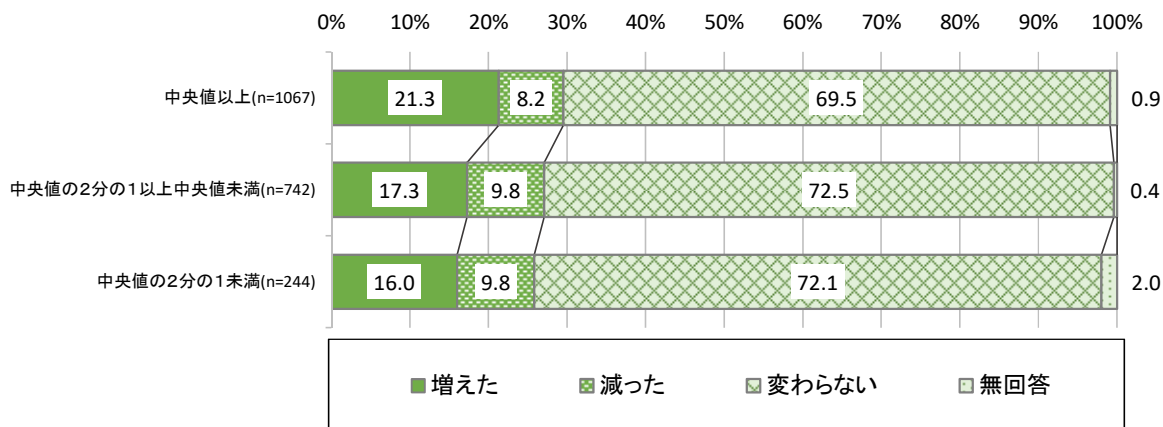


図 2-3-2-2 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (学校の授業以外で勉強する時間)

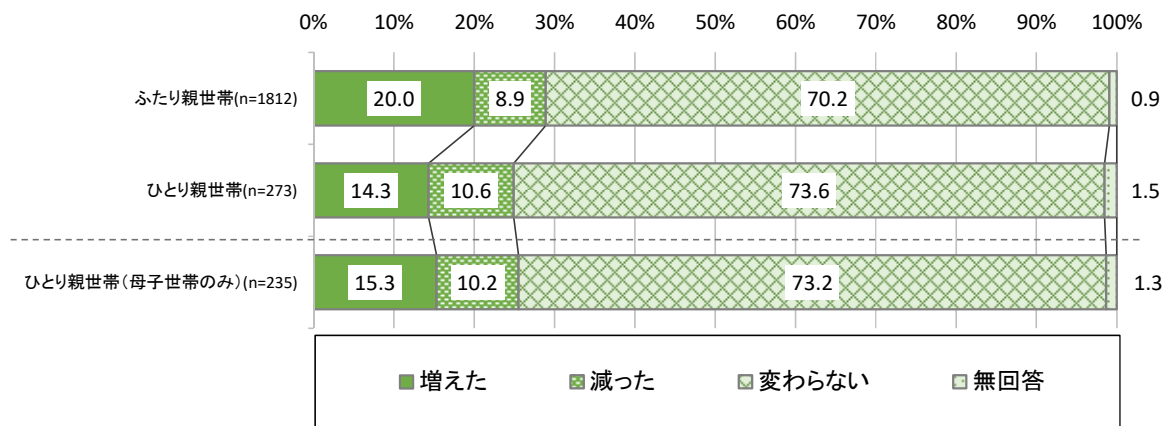


図 2-3-2-3 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容（学校の授業以外で勉強する時間）

(2) 学校の授業がわからないと感じること

中学生票問16. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

b.学校の授業がわからないと感じること

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「学校の授業がわからないと感じること」は、「増えた」が26.1%、「減った」が4.9%、「変わらない」が68.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では20.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では29.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では43.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では24.4%、「ひとり親世帯」全体では36.3%、「母子世帯」のみでは38.3%となっている。

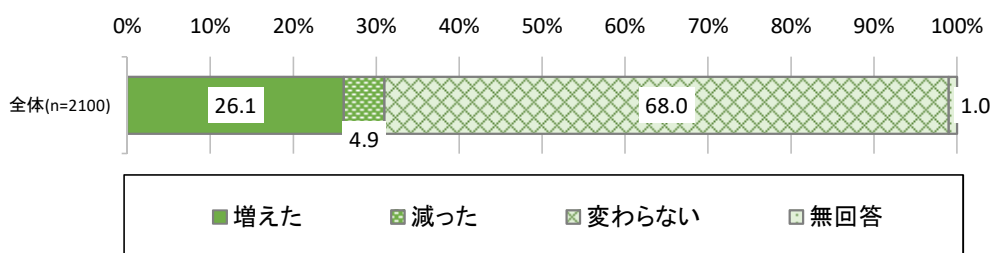


図 2-3-2-4 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (学校の授業がわからないと感じること)

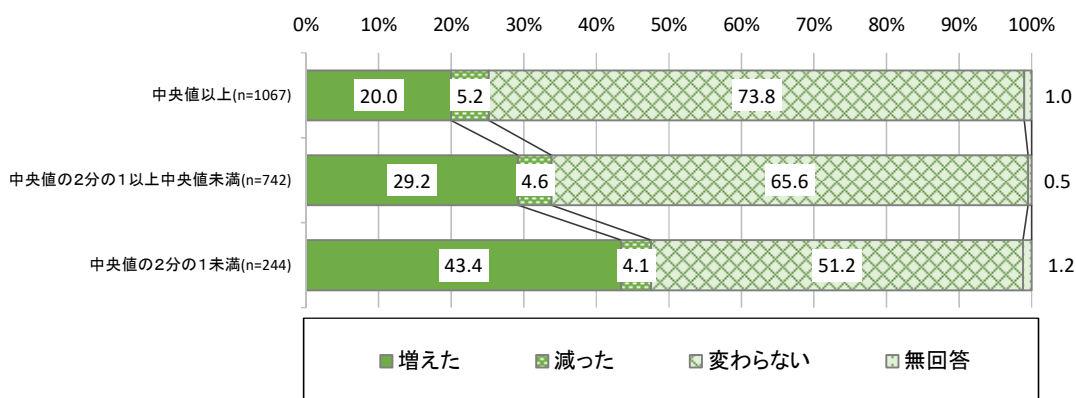


図 2-3-2-5 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (学校の授業がわからないと感じること)

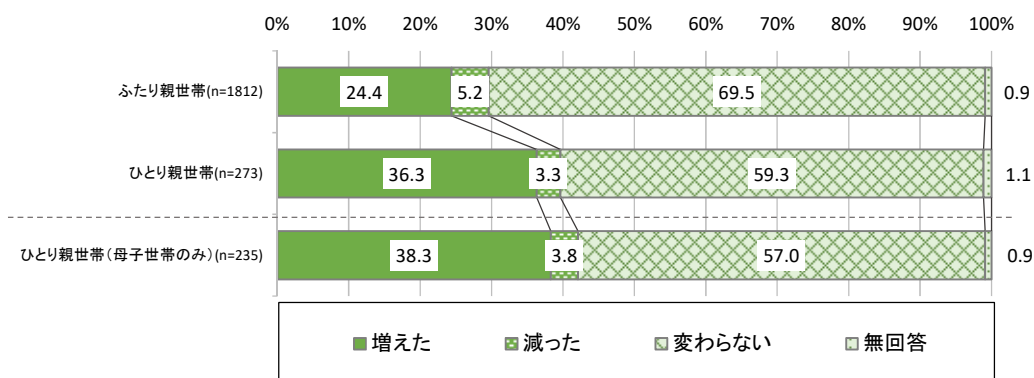


図 2-3-2-6 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (学校の授業がわからないと感じること)

(3) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

中学生票問16. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

c.地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数」は、「増えた」が8.1%、「減った」が52.0%、「変わらない」が38.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では54.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では53.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では41.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では53.2%、「ひとり親世帯」全体では44.0%、「母子世帯」のみでは45.1%となっている。

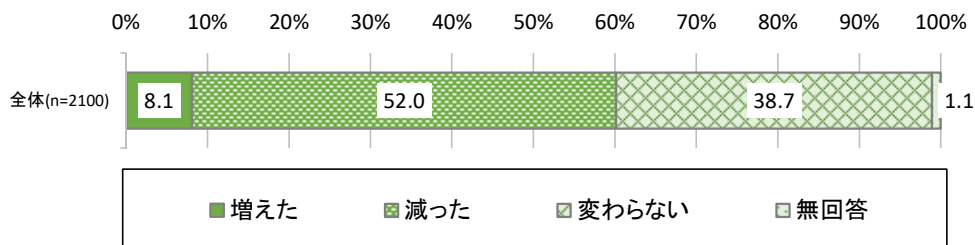


図 2-3-2-7 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数)

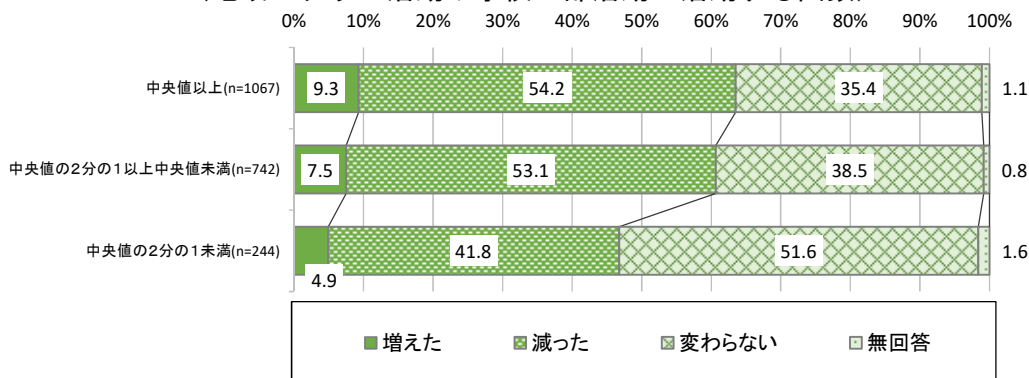


図 2-3-2-8 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数)

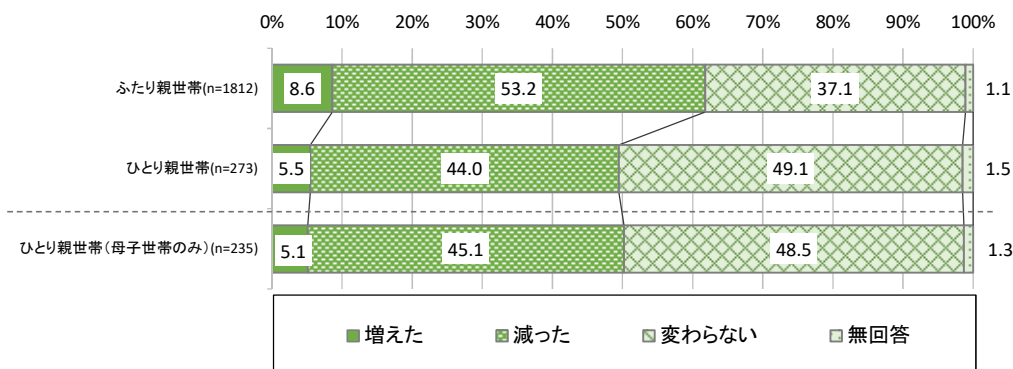


図 2-3-2-9 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数)

(4) 食事を抜く回数

中学生票問16. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

d.食事を抜く回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「食事を抜く回数」は、「増えた」が5.6%、「減った」が3.6%、「変わらない」が90.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では4.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では6.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では9.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では4.8%、「ひとり親世帯」全体では10.3%、「母子世帯」のみでは10.6%となっている。

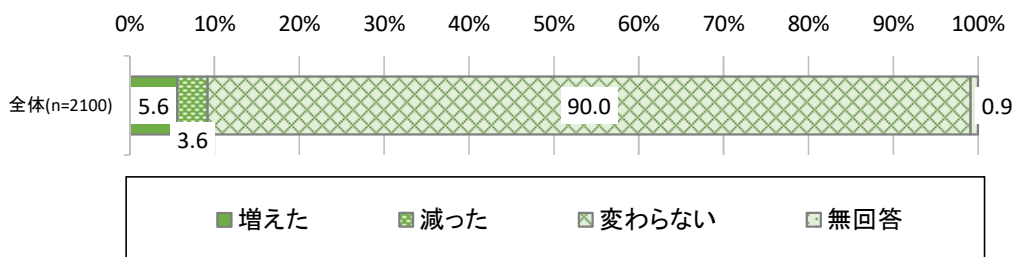


図 2-3-2-10 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (食事を抜く回数)

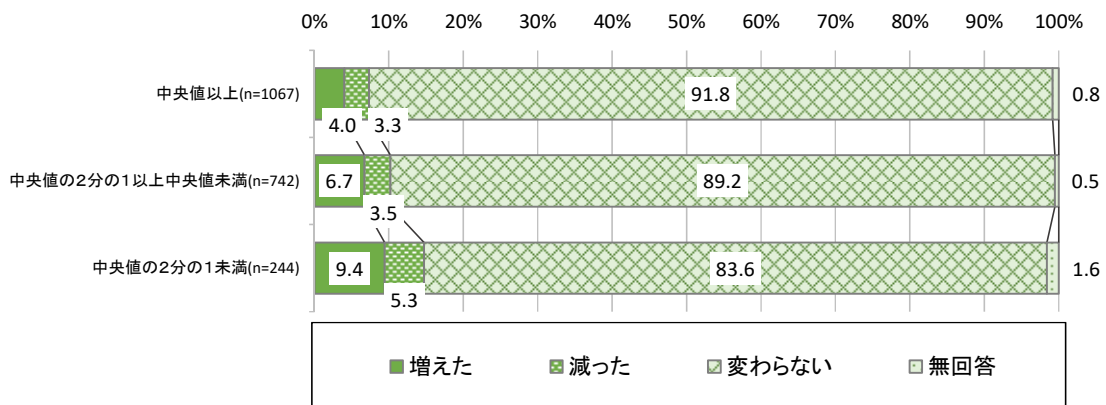


図 2-3-2-11 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (食事を抜く回数)

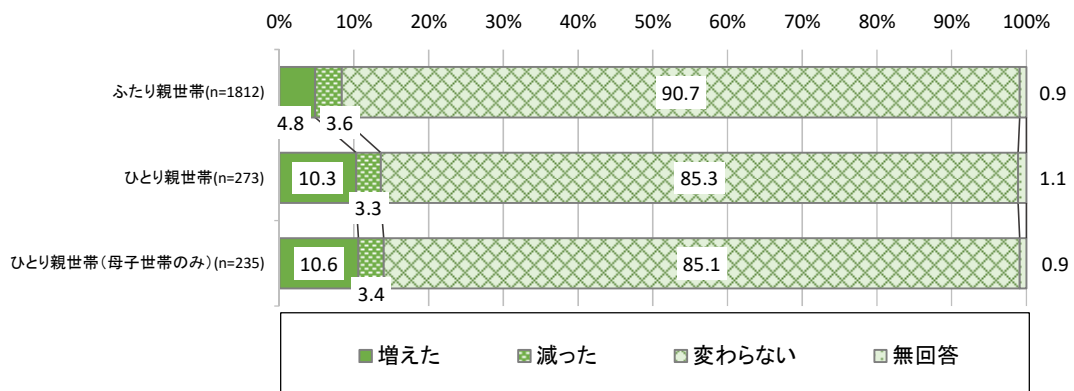


図 2-3-2-12 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (食事を抜く回数)

(5) 夜遅くまで起きている回数

中学生票問16. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

e.夜遅くまで起きている回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「夜遅くまで起きている回数」は、「増えた」が39.0%、「減った」が3.7%、「変わらない」が56.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では36.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では42.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では40.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では38.6%、「ひとり親世帯」全体では40.7%、「母子世帯」のみでは41.3%となっている。

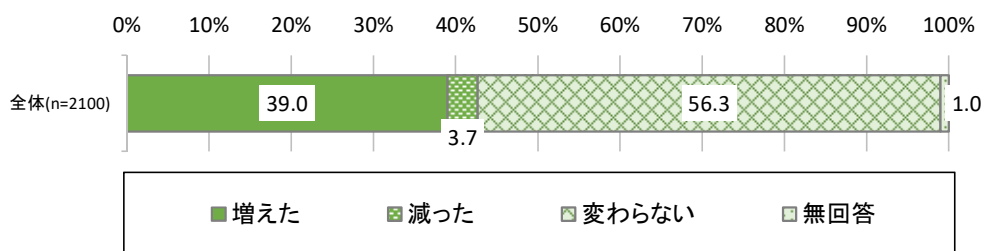


図 2-3-2-13 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (夜遅くまで起きている回数)

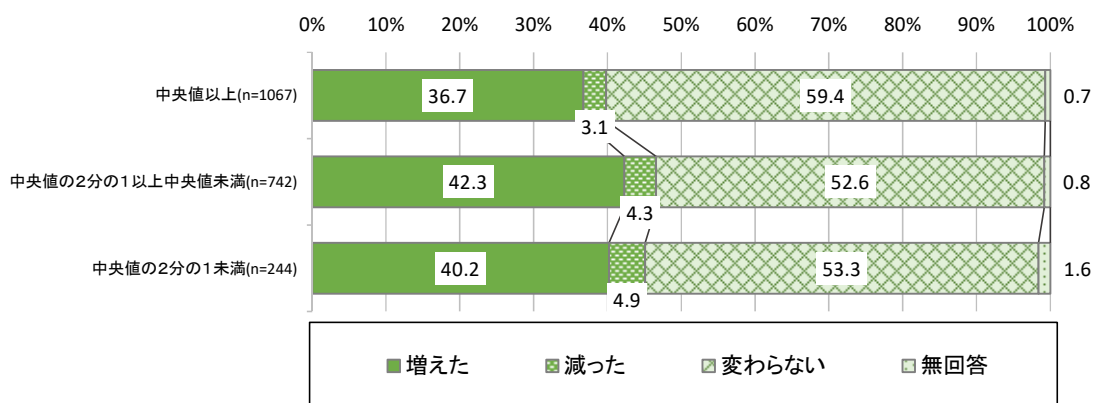


図 2-3-2-14 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (夜遅くまで起きている回数)

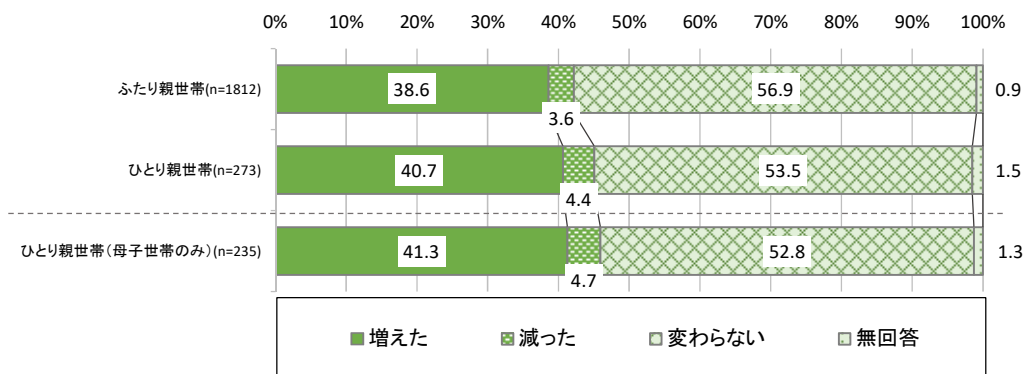


図 2-3-2-15 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (夜遅くまで起きている回数)

(6) 親以外の大人や友達と話をすること

中学生票問16. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

f.親以外の大人や友達と話をすること

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「親以外の大人や友達と話をすること」は、「増えた」が19.7%、「減った」が18.0%、「変わらない」が61.5%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では19.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では16.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では17.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では18.2%、「ひとり親世帯」全体では16.5%、「母子世帯」のみでは16.2%となっている。

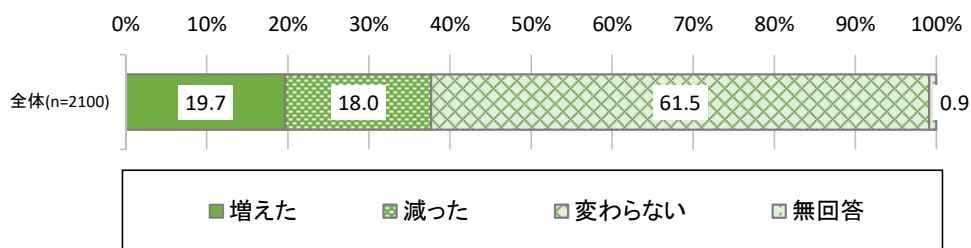


図 2-3-2-16 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (親以外の大人や友達と話をすること)

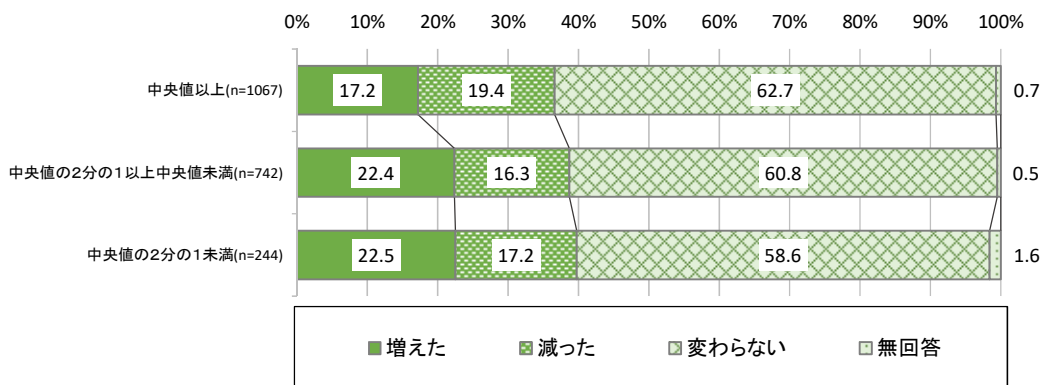


図 2-3-2-17 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (親以外の大人や友達と話をすること)

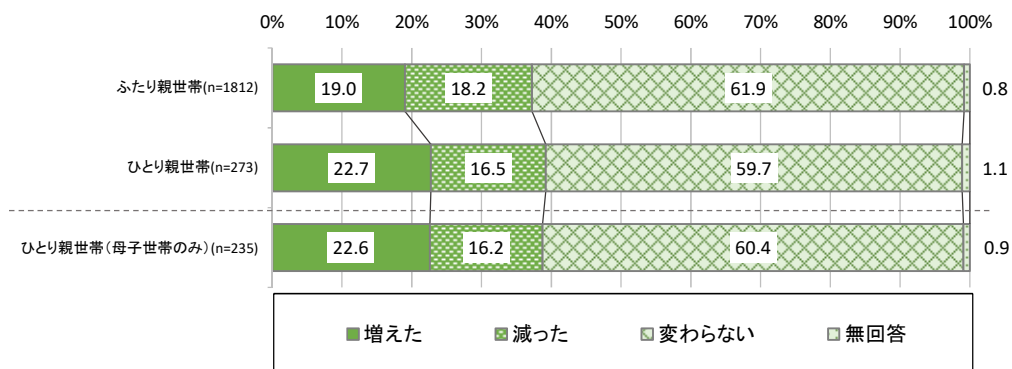


図 2-3-2-18 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容 (親以外の大人や友達と話をすること)

(7) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

中学生票問16. あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(SA)

g.イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により子どもに変化があった内容について、「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」は、「増えた」が26.6%、「減った」が5.1%、「変わらない」が67.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では25.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では28.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では27.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では26.5%、「ひとり親世帯」全体では26.7%、「母子世帯」のみでは26.0%となっている。

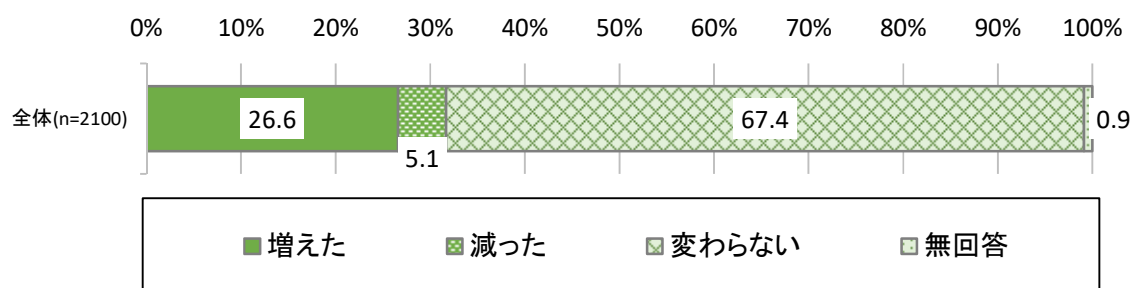


図 2-3-2-19 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容（イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと）

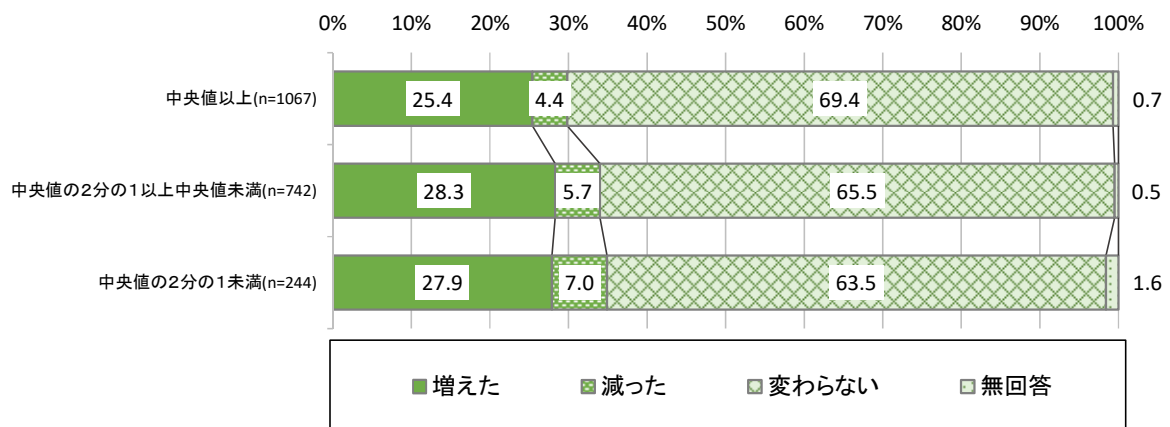


図 2-3-2-20 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容（イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと）

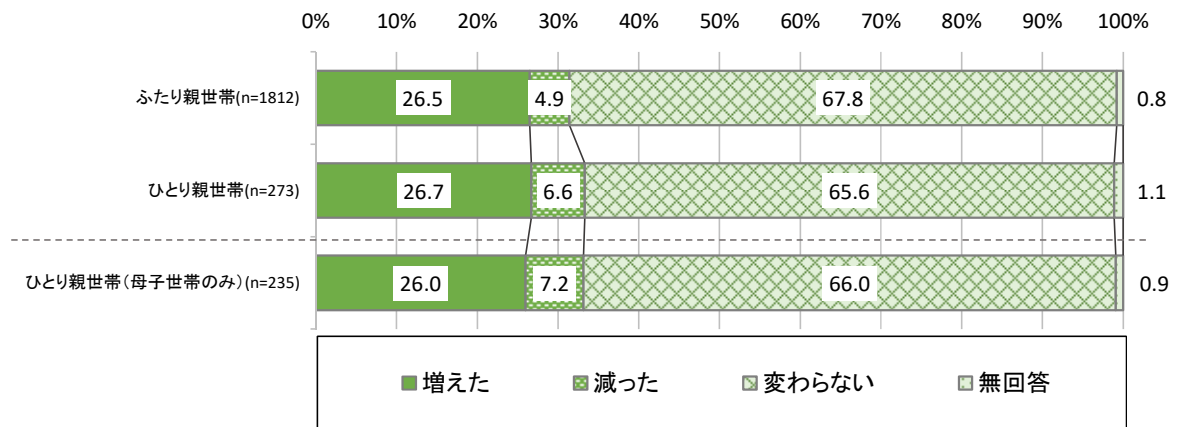


図 2-3-2-21 世帯の状況別、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けたことの内容（イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと）

(8) 新型コロナウイルス感染症の影響と子どもの現在の状況との関係

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について、「学校の授業がわからないと感じること」の状況別に子どもの生活満足度について集計すると、生活満足度の平均値は、「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した場合は6.2、「減った」と回答した場合は7.3、「変わらない」と回答した場合は7.3となっている。

また、等価世帯収入の水準で分類した上で、「学校の授業がわからないと感じること」の状況別に子どもの生活満足度について集計すると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した場合は生活満足度の平均値が低くなっている。

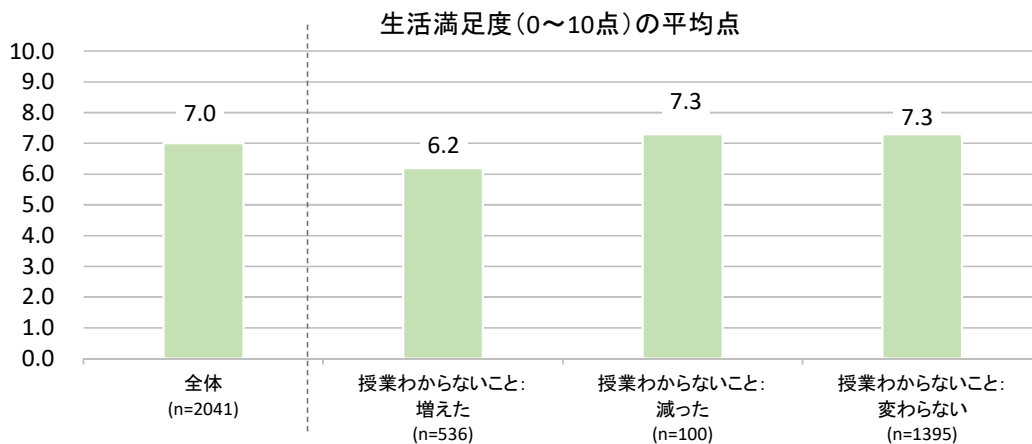


図 2-3-2-22 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について「学校の授業がわからないと感じること」の状況別、子どもの生活満足度

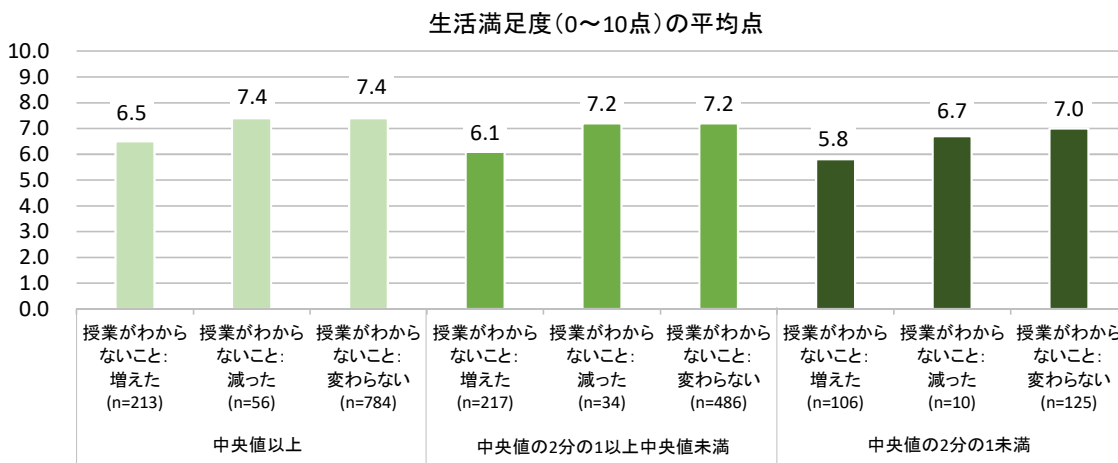


図 2-3-2-23 等価世帯収入の水準別、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について「学校の授業がわからないと感じること」の状況別、子どもの生活満足度

2.4. 支援の利用状況や効果等

2.4.1. 保護者の状況

(1) 支援制度の利用状況

保護者票問24. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(SA)

支援制度の利用状況について、「就学援助」や「児童扶養手当」に関しては、「現在利用している」の割合が約1割、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「北九州市立母子・父子福祉センター」について「現在利用している」の割合は全体の1%以下となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については65.7%、「児童扶養手当」については52.2%となっている。それ以外は、「現在利用している」の割合は1割未満となっている。

「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については65.7%、「児童扶養手当」については69.7%となっている。「母子世帯」のみに限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については71.7%、「児童扶養手当」については75.9%となっている。

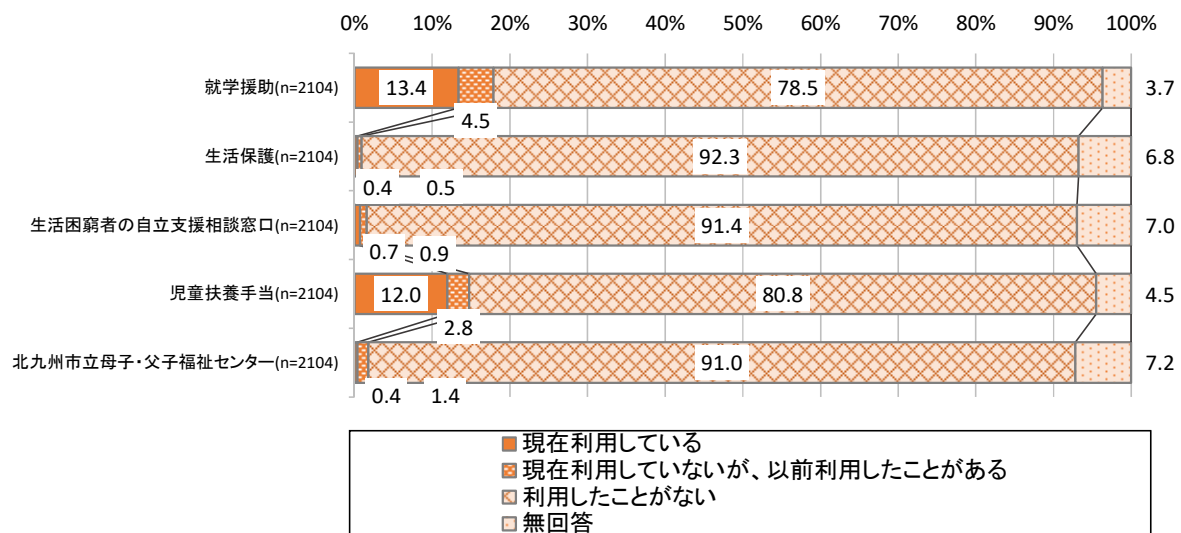


図 2-4-1-1 支援制度の利用状況

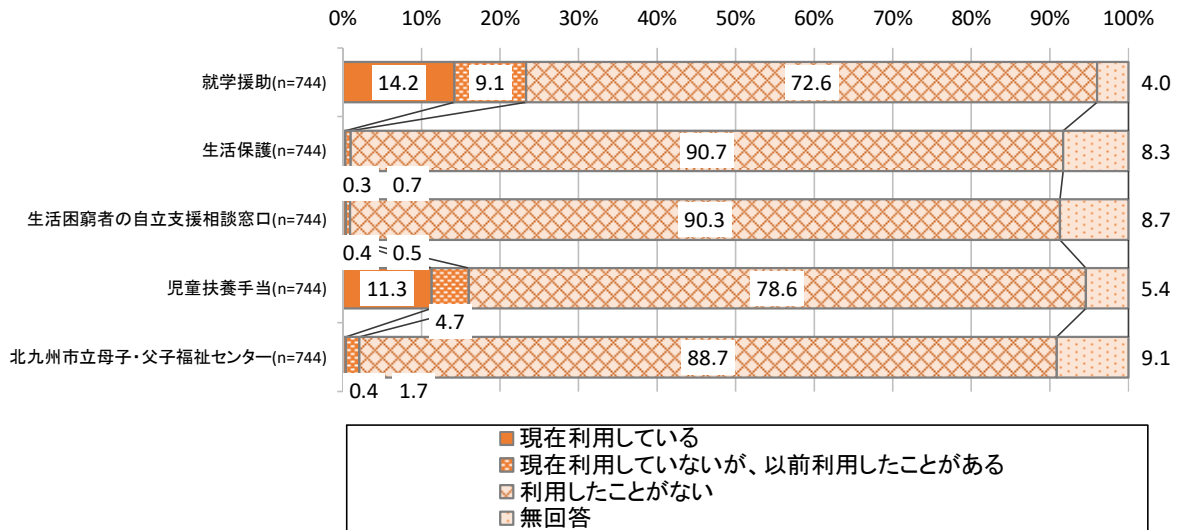


図 2-4-1-2 等価世帯収入が「中央値の2分の1以上中央値未満」の場合の支援制度の利用状況

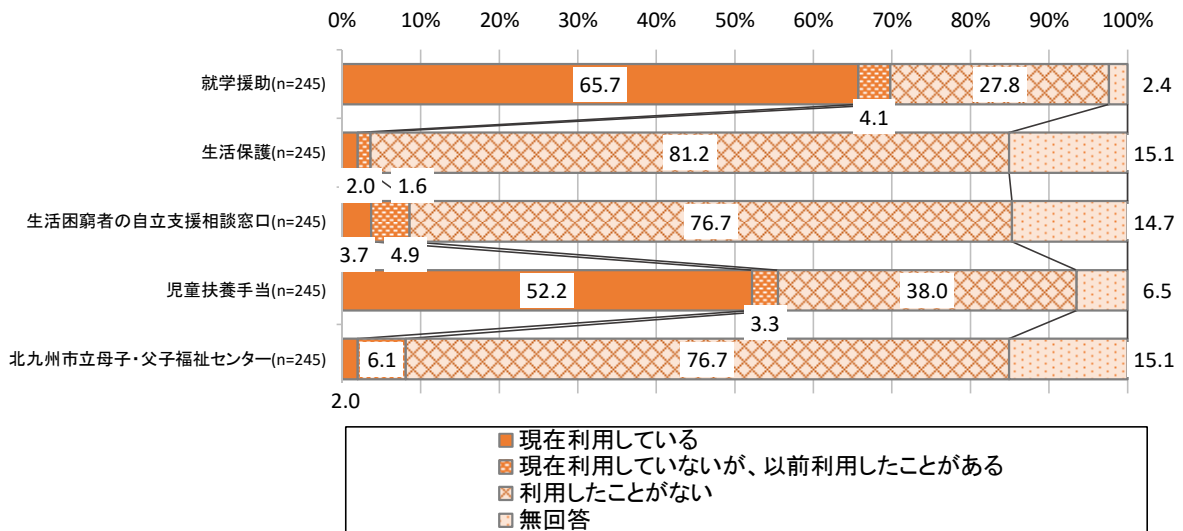


図 2-4-1-3 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度の利用状況

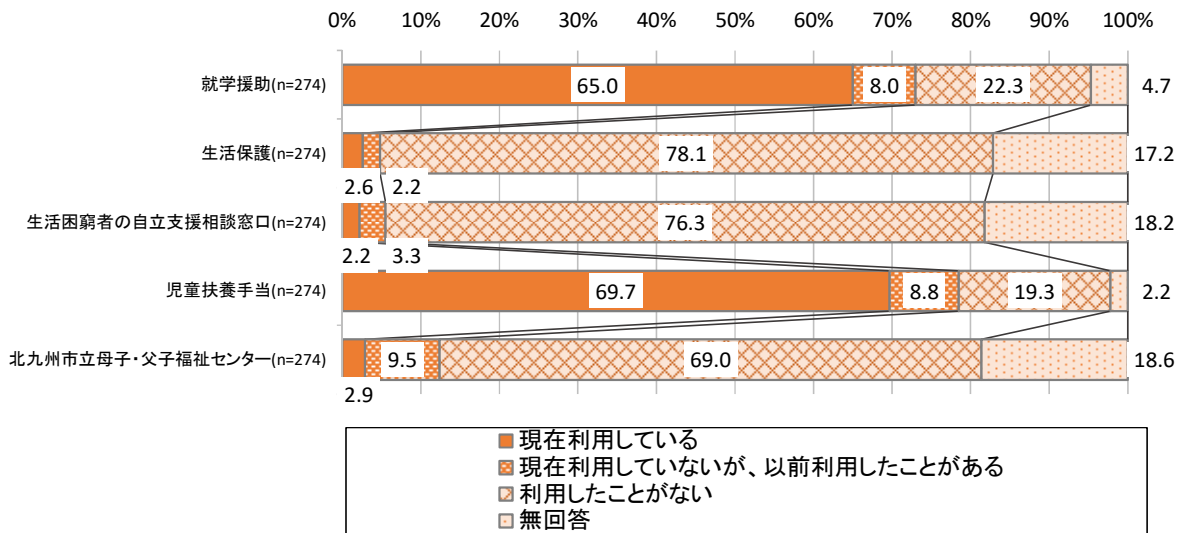


図 2-4-1-4 世帯の状況が「ひとり親世帯」(全体)の場合の支援制度の利用状況

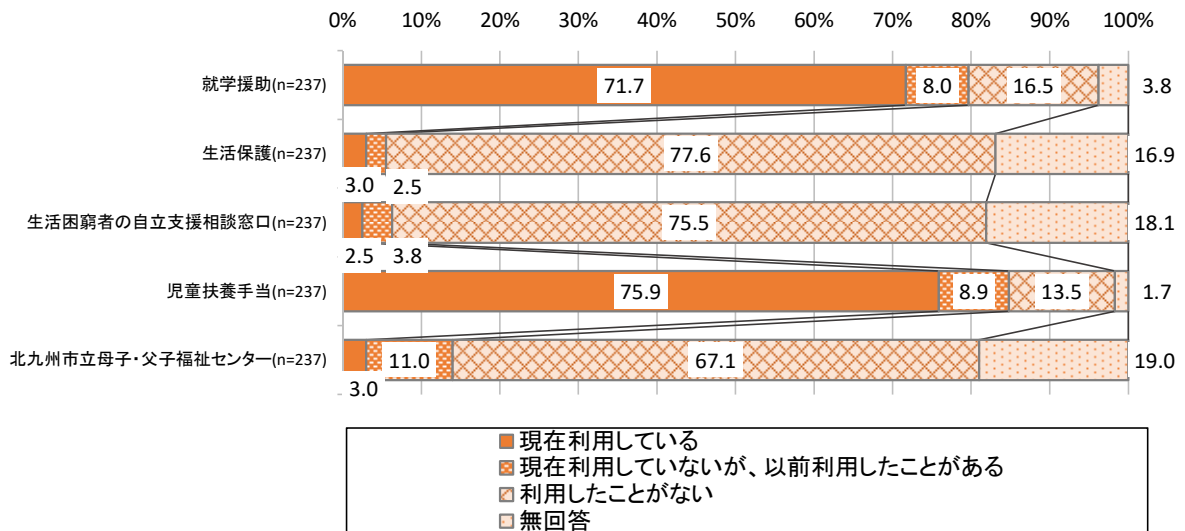


図 2-4-1-5 世帯の状況が「ひとり親世帯」(母子世帯のみ)の場合の支援制度の利用状況

(2) 支援制度を利用していない理由

【問 24 で 3 と答えた方に】

保護者票問24-1. その理由は何ですか。(SA)

各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」の回答割合が最も高くなっている。「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた回答は、「就学援助」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「北九州市立母子・父子福祉センター」に関して、約1割となっている。また、それぞれ、「それ以外の理由」の割合も約1～2割となっている。

「ひとり親世帯」に限って集計すると、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「就学援助」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「北九州市立母子・父子福祉センター」に関して約1割となっている。「母子世帯」のみに限って集計すると、同様に、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合は、「就学援助」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「北九州市立母子・父子福祉センター」に関して約1割となっている。

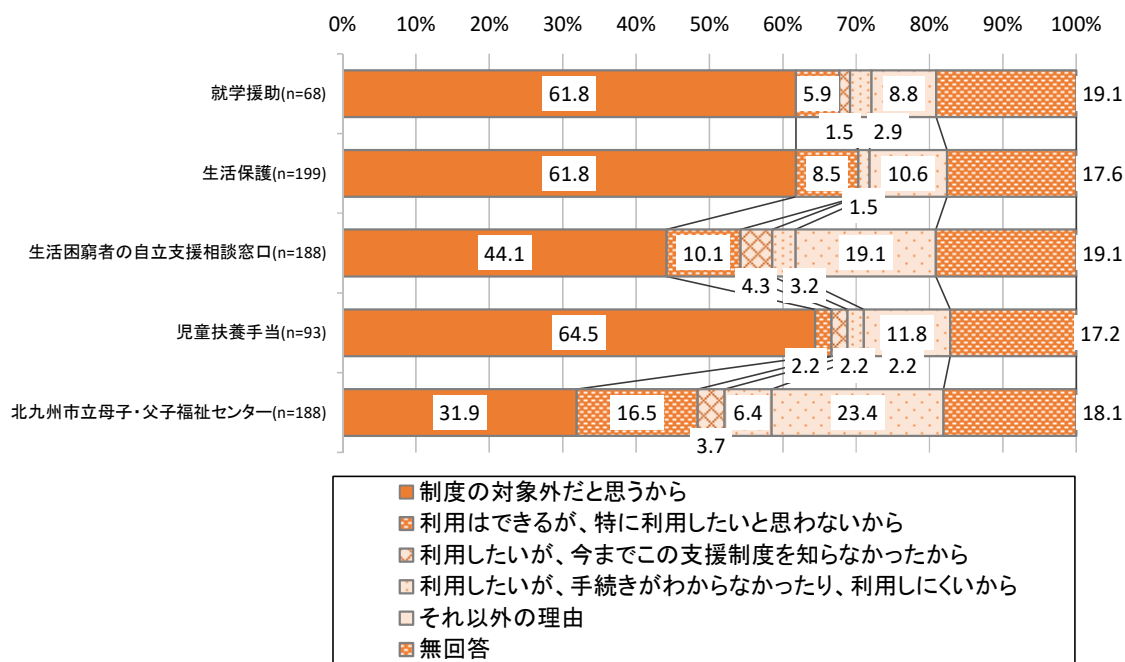


図 2-4-1-6 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用していない理由

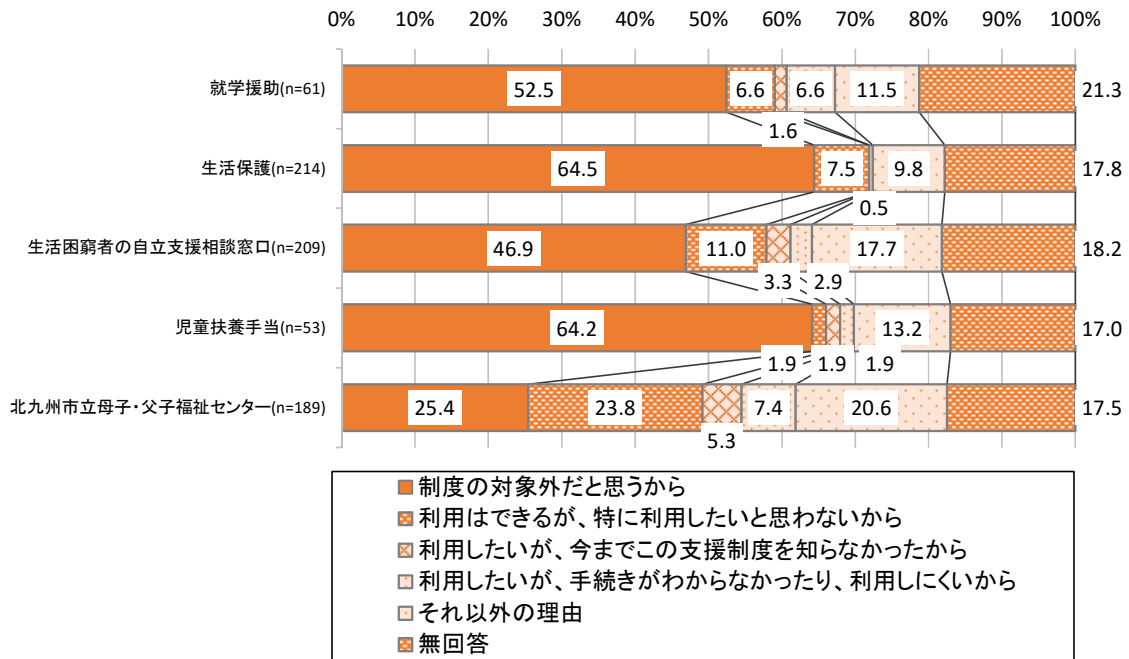


図 2-4-1-7 世帯の状況が「ひとり親世帯」(全体)の場合の支援制度を利用していない理由

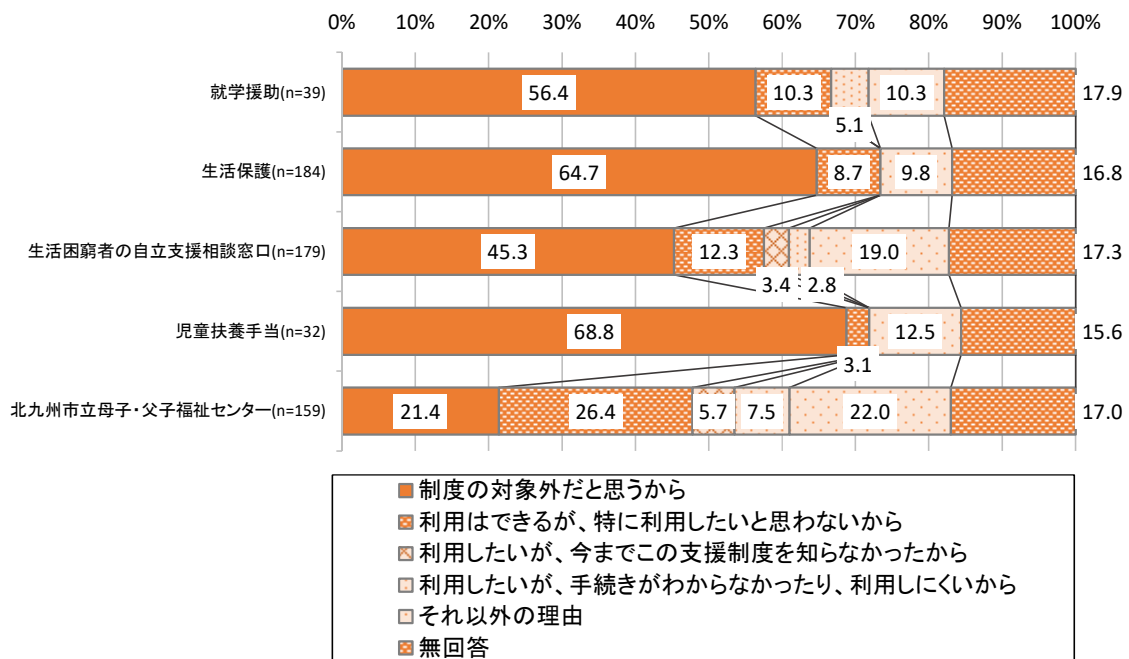


図 2-4-1-8 世帯の状況が「ひとり親世帯」(母子世帯のみ)の場合の支援制度を利用していない理由

2.4.2. 子どもの状況

(1) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所

中学生票問18. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

a. (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所

支援制度・居場所等の利用状況について、「(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所」に関しては、「利用したことがある」が13.6%、「あれば利用したいと思う」が17.4%、「今後も利用したいと思わない」が34.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が33.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では13.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では14.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では11.1%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、16.4%、19.1%、18.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では13.1%、「ひとり親世帯」全体では16.8%、「母子世帯」のみでは15.7%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、16.9%、19.4%、20.4%となっている。

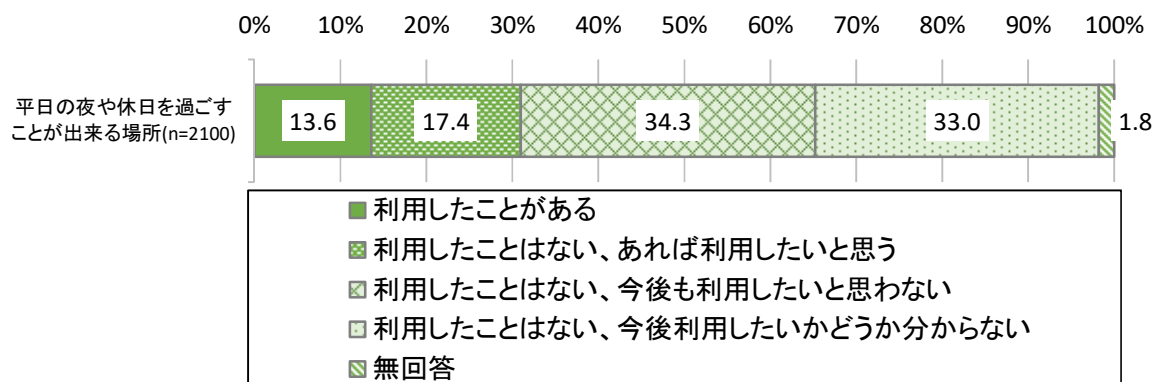


図 2-4-2-1 支援制度・居場所等の利用状況（平日の夜や休日を過ごすことができる場所）

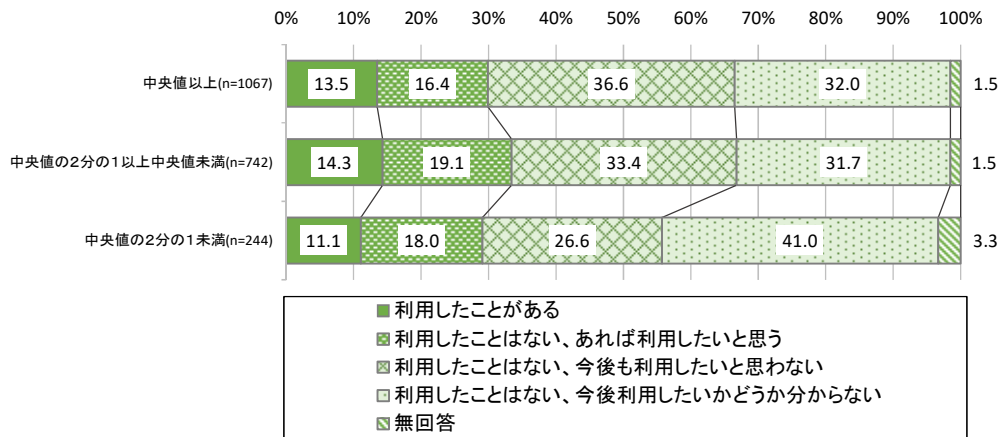


図 2-4-2-2 等価世帯収入の水準別、支援制度・居場所等の利用状況
(平日の夜や休日を過ごすことができる場所)

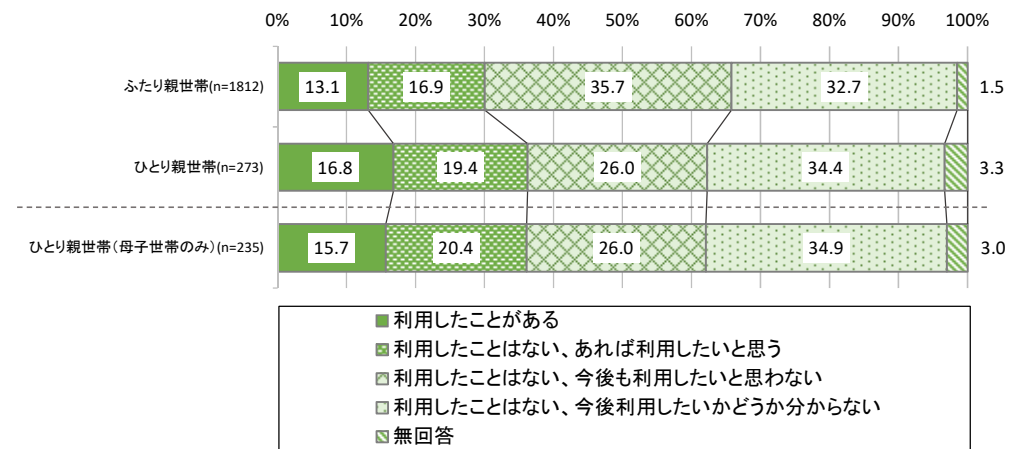


図 2-4-2-3 世帯の状況別、支援制度・居場所等の利用状況
(平日の夜や休日を過ごすことができる場所)

(2) タごはんを無料か安く食べることができる場所

中学生票問18. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

b. (自分や友人の家以外で)タごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)

支援制度・居場所等の利用状況について、「(自分や友人の家以外で)タごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)」に関しては、「利用したことがある」が4.0%、「あれば利用したいと思う」が23.3%、「今後も利用したいと思わない」が37.8%、「今後も利用したいかどうか分からない」が33.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では3.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では3.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では5.3%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、21.5%、24.8%、25.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では4.0%、「ひとり親世帯」全体では4.0%、「母子世帯」のみでは3.8%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、22.8%、24.9%、27.2%となっている。

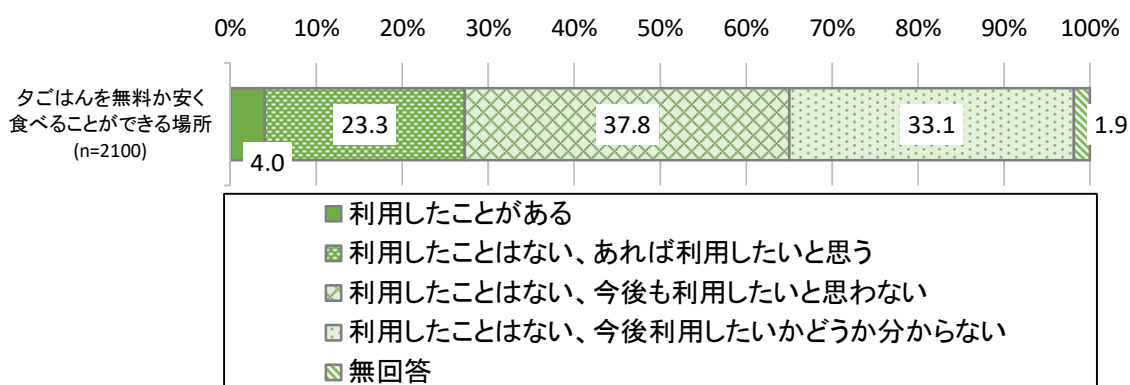


図 2-4-2-4 支援制度・居場所等の利用状況 (タごはんを無料か安く食べることができる場所)

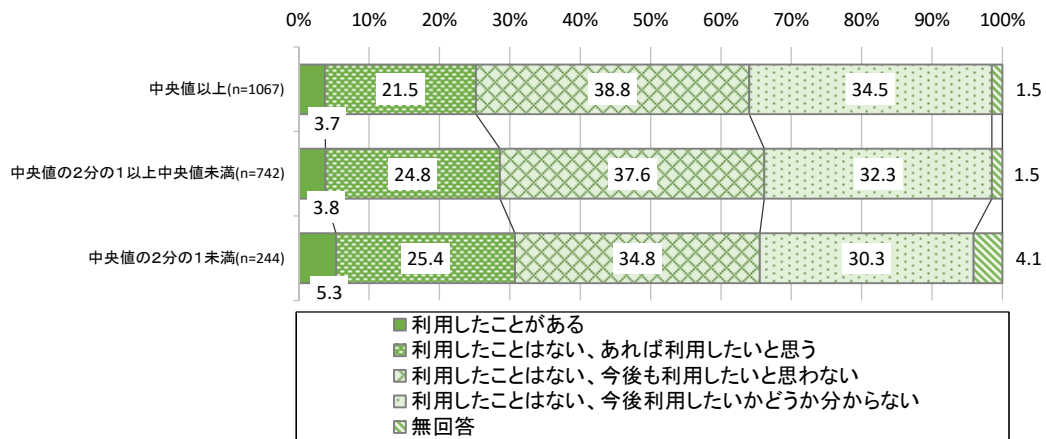


図 2-4-2-5 等価世帯収入の水準別、支援制度・居場所等の利用状況
(夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)

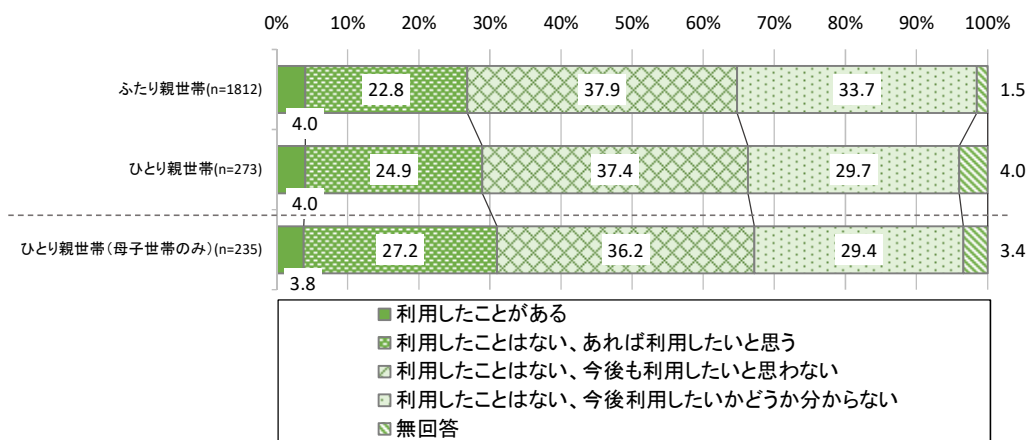


図 2-4-2-6 世帯の状況別、支援制度・居場所等の利用状況
(夕ごはんを無料か安く食べることができる場所)

(3) 勉強を無料でみてくれる場所

中学生票問18. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

c. 勉強を無料でみてくれる場所

支援制度・居場所等の利用状況について、「勉強を無料でみてくれる場所」に関しては、「利用したことがある」が3.3%、「あれば利用したいと思う」が37.6%、「今後も利用したいと思わない」が29.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が28.2%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では3.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では3.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では4.1%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、35.0%、40.0%、41.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では3.4%、「ひとり親世帯」全体では2.6%、「母子世帯」のみでは2.6%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、37.5%、36.6%、37.0%となっている。

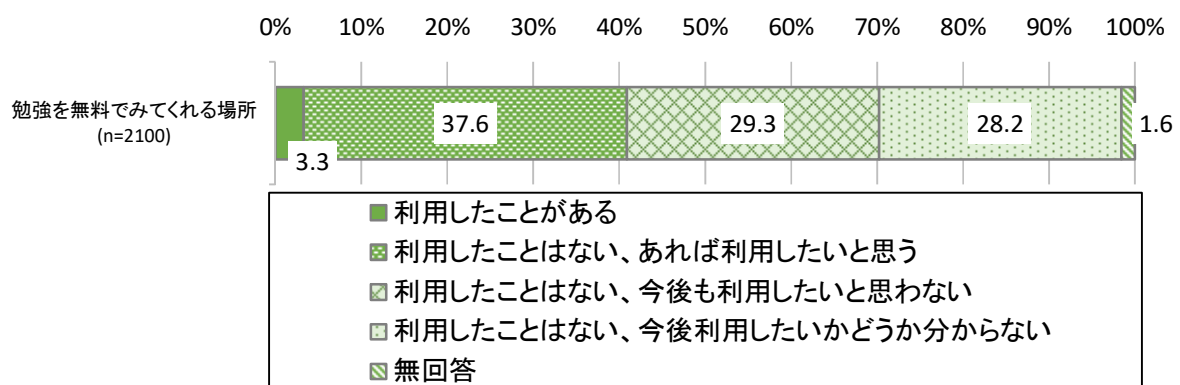


図 2-4-2-7 支援制度・居場所等の利用状況（勉強を無料でみてくれる場所）

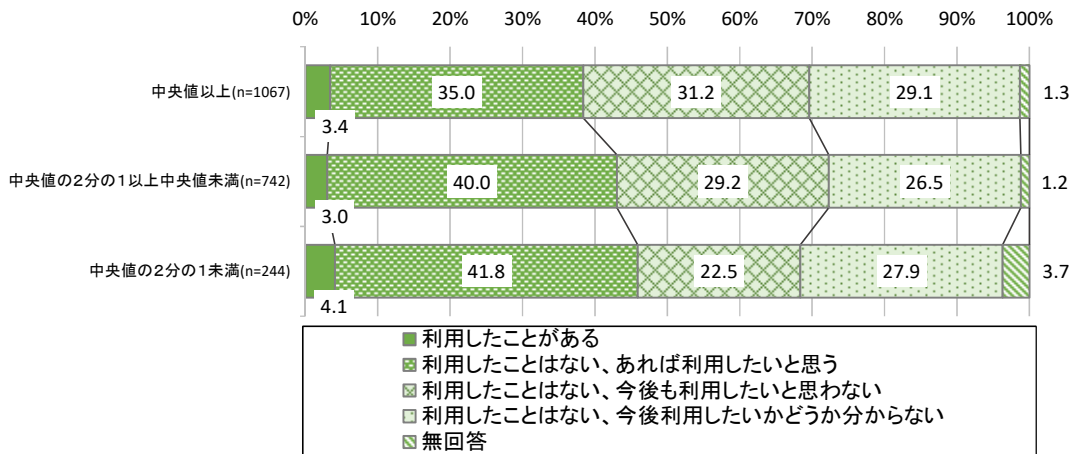


図 2-4-2-8 等価世帯収入の水準別、支援制度・居場所等の利用状況
(勉強を無料でみてくれる場所)

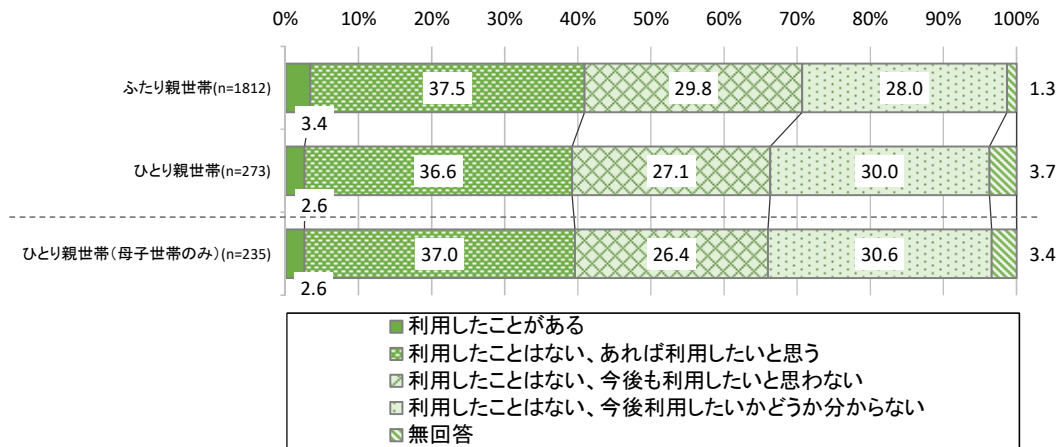


図 2-4-2-9 世帯の状況別、支援制度・居場所等の利用状況
(勉強を無料でみてくれる場所)

(4) 何でも相談できる場所

中学生票問18. あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

d. (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)

支援制度・居場所等の利用状況について、「何でも相談できる場所」に関しては、「利用したことがある」が2.6%、「あれば利用したいと思う」が17.7%、「今後も利用したいと思わない」が36.0%、「今後も利用したいかどうか分からない」が42.0%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では2.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では1.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では4.5%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、17.9%、18.6%、15.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では2.4%、「ひとり親世帯」全体では2.9%、「母子世帯」のみでは2.6%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、18.0%、15.8%、16.2%となっている。

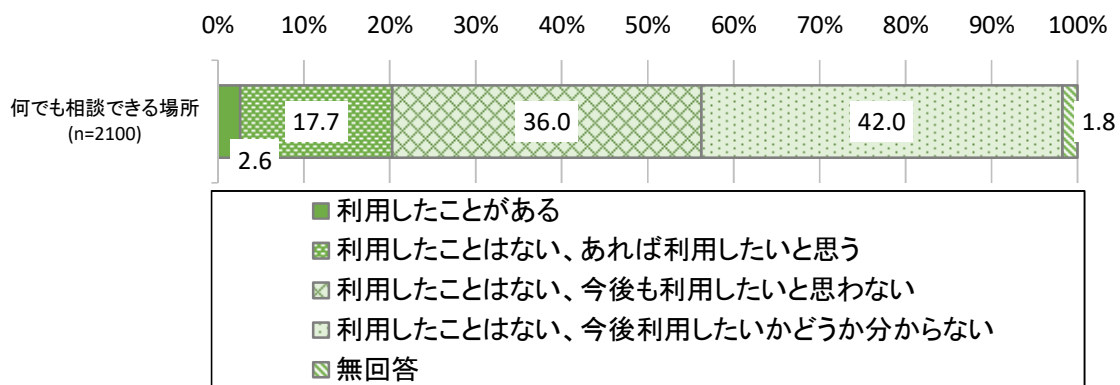


図 2-4-2-10 支援制度・居場所等の利用状況（何でも相談できる場所）

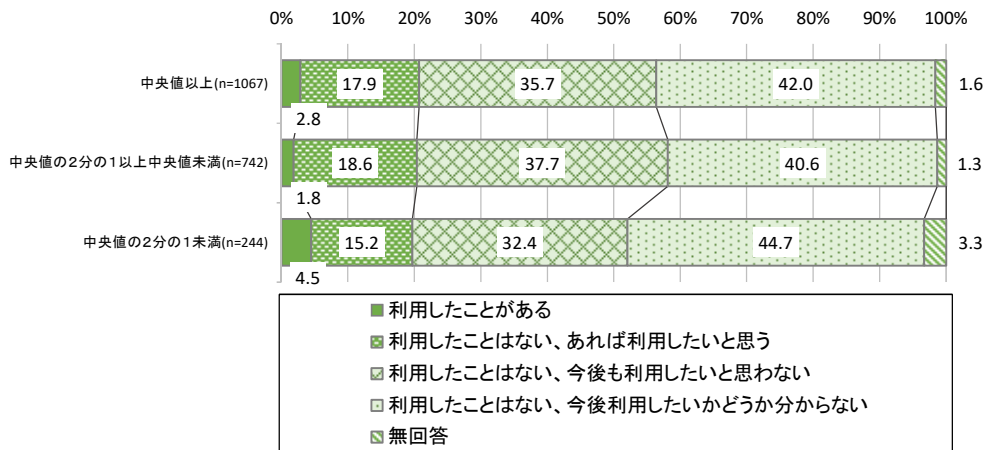


図 2-4-2-11 等価世帯収入の水準別、支援制度・居場所等の利用状況
(何でも相談できる場所)

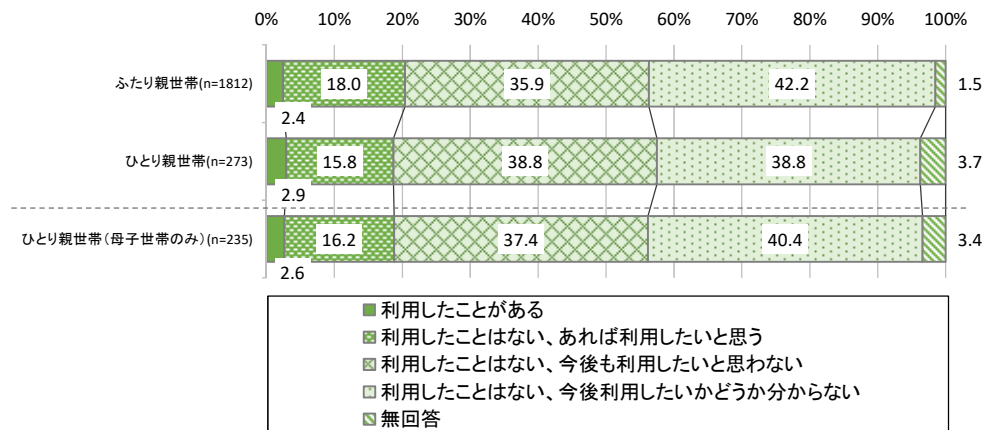


図 2-4-2-12 世帯の状況別、支援制度・居場所等の利用状況
(何でも相談できる場所)

(5) 支援制度・居場所等の利用による変化

【問18で1つでも1(「利用したことがある」と答えた方に)】

中学生票問19. そそを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(MA)

いずれかの支援制度・居場所等を利用したことがある場合に、利用による変化をどのように考えているかについて集計を行った。「特に変化はない」以外の回答では、「生活の中で楽しみなことが増えた」が25.1%、「ほっとできる時間が増えた」が23.8%、「友だちが増えた」22.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「気軽に話せる大人が増えた」などの割合が比較的高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「気軽に話せる大人が増えた」の割合が22.2%で、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

また、利用した支援制度・利用場所の内容別に集計すると、「勉強を無料でみってくれる場所」を利用したことがある場合は、「勉強する時間が増えた」が40.6%、「勉強がわかるようになった」が30.4%となっている。また、「何でも相談できる場所」を利用したことがある場合は、「ほっとできる時間が増えた」が35.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が29.6%となっている。

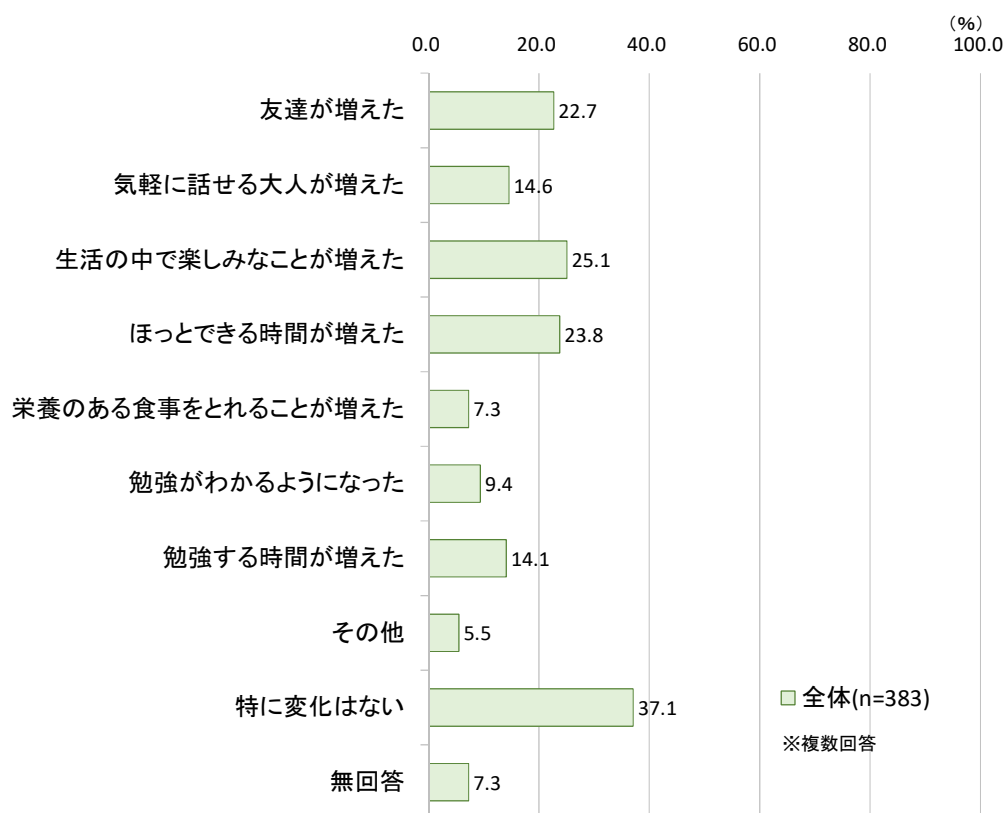


図 2-4-2-13 支援制度・居場所等の利用による変化

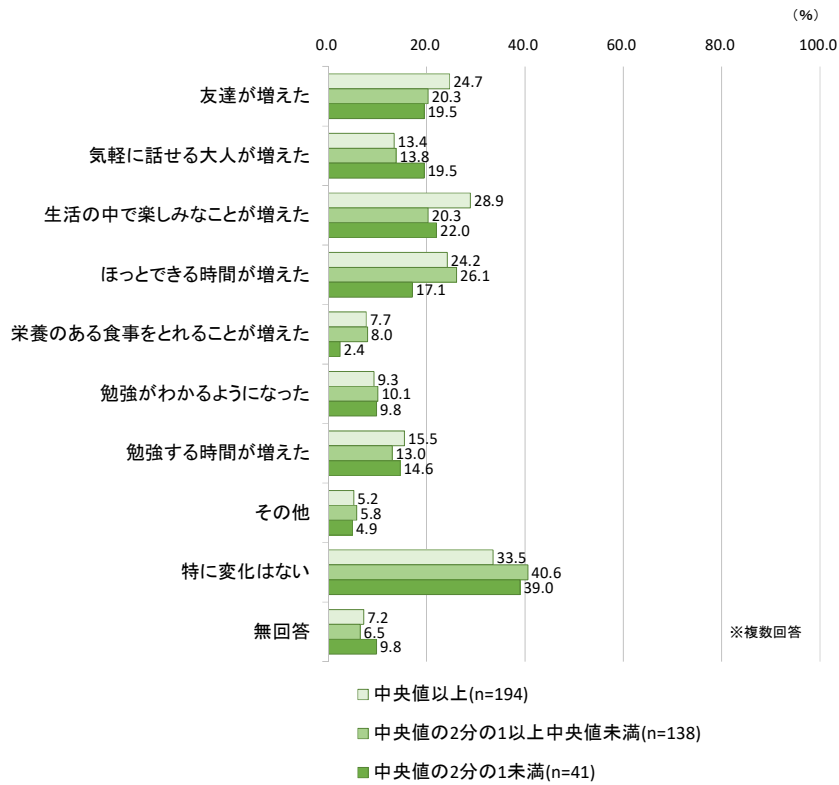


図 2-4-2-14 等価世帯収入の水準別、支援制度・居場所等の利用による変化

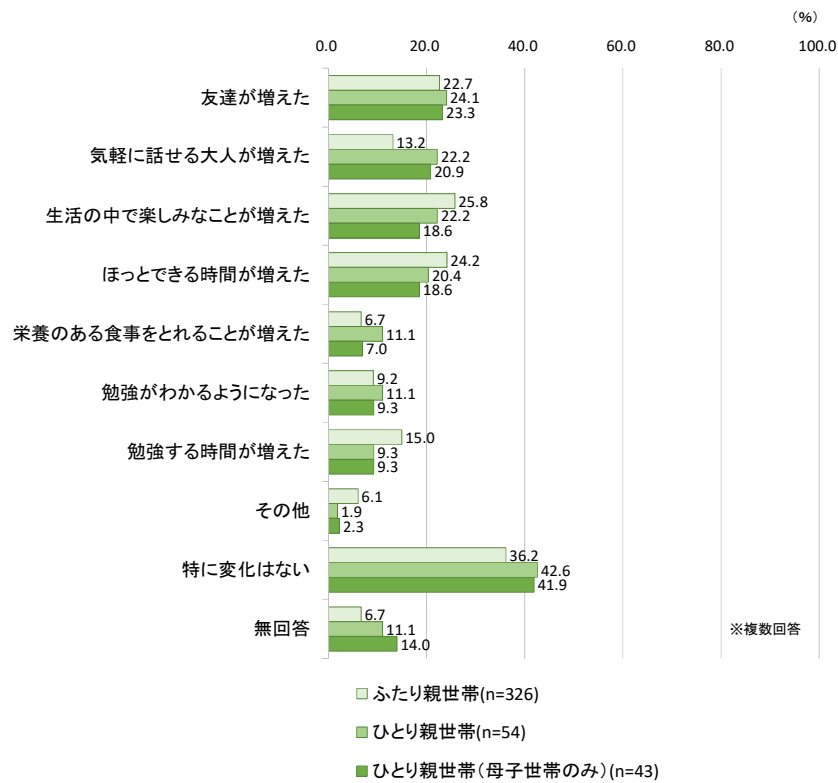


図 2-4-2-15 世帯の状況別、支援制度・居場所等の利用による変化

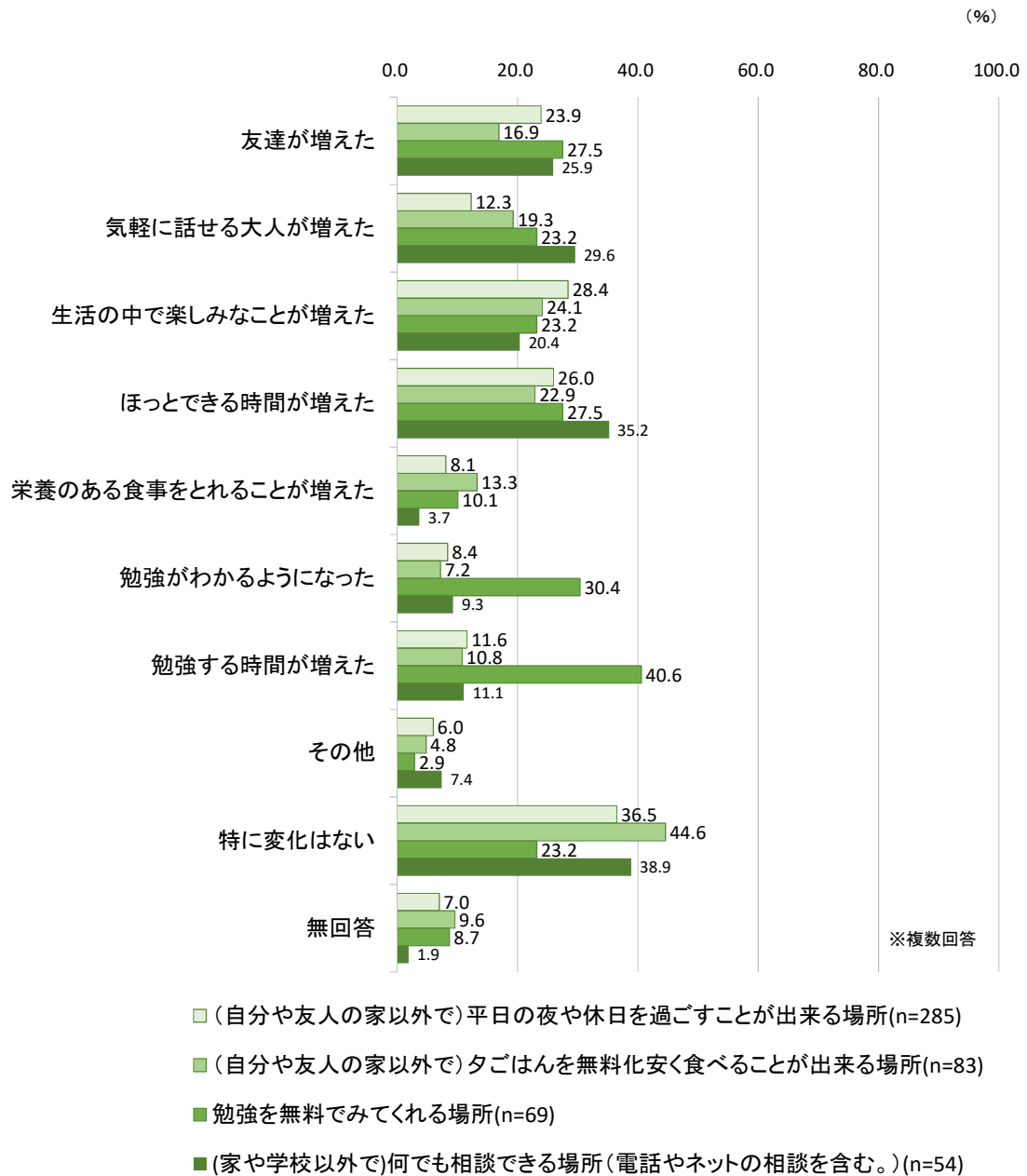


図 2-4-2-16 利用経験のある支援制度・居場所等の内容別、利用による変化